Panasonic®

RR-XS450
RR-XS500

RR-XS700

保証書付き

取扱説明書

IC レコーダー

品番 **RR-XS450**
RR-XS500
RR-XS700

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●ご使用前に**「安全上のご注意」(P97 ~ 101)を必ずお読みください。**
●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、
取扱説明書とともに大切に保管してください。

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で
「ご愛用者登録」をしてください。(P108)

安全上のご注意
準備
基本操作
応用操作
パソコンと使う
その他

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社
〒 571-8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

VQT4J84-1
M0612KZ1082

本機の楽しみ方

録音する

本機はリニア PCM（以降は PCM と記載）形式の録音に対応しています。PCM 録音ではデータを圧縮しないため、CD 音質にせまる高音質な録音ができます。また、内蔵する高感度ステレオマイクによって、自然で臨場感のある録音ができます。また、ズーム録音機能を使うと前方正面の音を強調して録音することができます。
録音シーンに応じた最適な録音設定を幅広く用意していますので、電源を入れて録音設定を選び、すぐに録音を開始することができます。

再生して聴く

- WMA/MP3 音楽ファイルの再生
- 語学学習に便利なシャドーイング再生
- 早聞きや遅聞き、再生音のノイズ軽減、ステレオ音声の前方や左右を個別に強調して再生
- 本機以外で録音した録音ファイルの再生に対応

FM ラジオを聴く

内蔵している FM チューナーを使って、FM ラジオを聴いたり、録音したりできます。

パソコンと接続する

- スライド式 USB 端子を装備
- 録音 / 音楽 / データファイルの移動や整理をする

タイマーで録音 / 再生する

指定した時刻に FM ラジオやマイク、外部機器から録音することができます。また、指定した時刻に FM ラジオやアラームを鳴らしたり、ファイルを再生したりすることができます。

本書の記載について

本書では、特別の記載がない限り RR-XS450 で説明しています。それぞれに固有の内容は、区別して説明しています。

例）**RR-XS450** RR-XS450 に関する記載
RR-XS500 RR-XS500 に関する記載
RR-XS700 RR-XS700 に関する記載

- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。

付属品の確認

● かっこ【　】内は、2012 年 6 月現在の品番です。
● 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
● 小物部品については、乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

RR-XS450

□単 4 形アルカリ乾電池：1 本
□ステレオインサイドホン【L0BAB0000172】

RR-XS500 **RR-XS700**

□単 4 形ニッケル水素充電式電池※1：1 本
□電池保管袋【RFC0156-Q】：1 個
□ステレオインサイドホン（イヤーピース※2付き：XS サイズ、S サイズ）【RFEV342PAKD】

付属品（上記）と別売品（右記、P9、11、43 ～ 45、72）は販売店でお買い求めいただけます。パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

CLUB Panasonic
Pana Sense http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm/

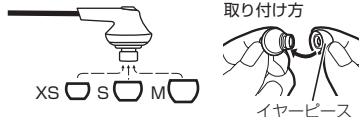
※1 充電式電池について

充電式電池の買い替えは必ず指定の別売品をお買い求めください。（P9）

※2 イヤーピースについて

使用上のお願い

- イヤーピースは誤飲防止のため、乳幼児の手の届くところに置かないでください。
- 付属のイヤーピースより、耳の孔に合うサイズを選んで使用ください。お買い上げ時には、M サイズが装着されています。
- イヤーピースが耳の孔にフィットせず、すき間があったり、ゆるいと、気密性が低下し本来の音響特性とならない場合があります。よい音で聴いていただくために、耳に正しく装着してください。

取り付け方

イヤーピースは長期の使用または保存により、劣化することがあります。このような場合は、別売品（下記）のイヤーピースをお買い求めください。
XS サイズ【RP-PD3XS】/S サイズ【RP-PD3S】/ M サイズ【RP-PD3M】/L サイズ【RP-PD3L】

目次

準備

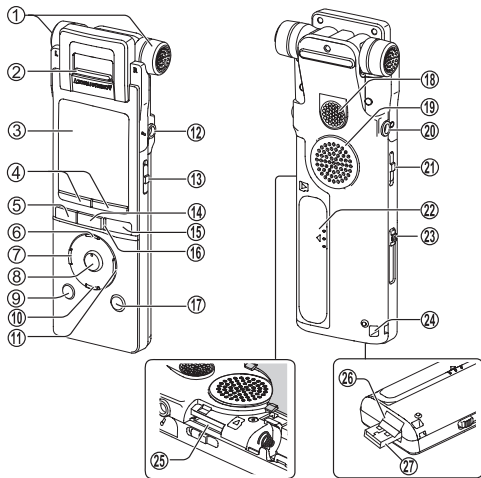
基本操作

応用操作

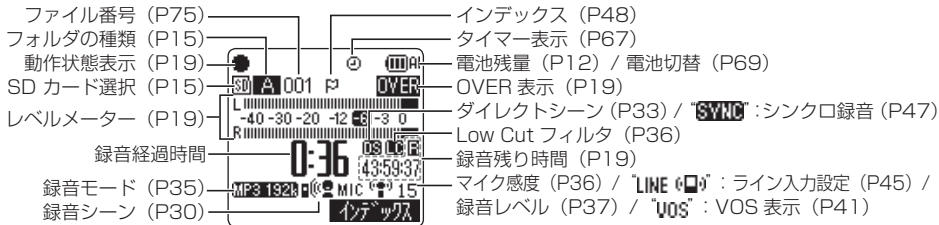
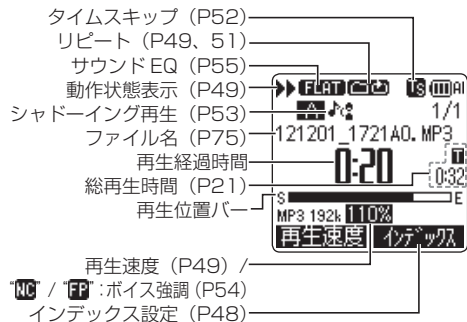
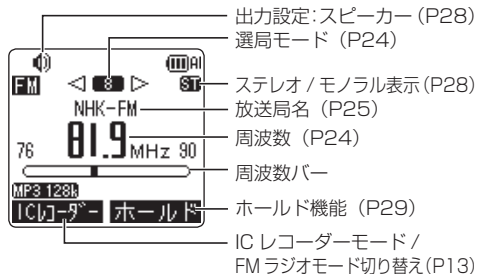
パソコンと使う

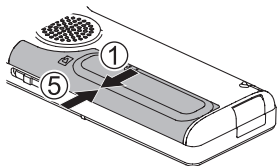
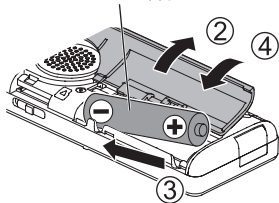
その他

① 内蔵マイク
② ズーム / ステレオ切り替えスイッチ
③ 表示部
④ F1、F2 ボタン
表示部に表示された機能の動作を行います。
⑤ メニューボタン
⑥ ＋（音量）ボタン
⑦ ◀◀（早戻し）ボタン
⑧ ▶ OK ボタン
⑨ リストボタン
⑩ −（音量）ボタン
⑪ ▶▶（早送り）ボタン
⑫ マイク / ライン端子
⑬ 電源 / ホールドスイッチ
⑭ 停止 ■/ 戻るボタン
⑮ 録音 ● ボタン
⑯ 録音ランプ（動作表示ランプ）
⑰ 消去 /A-B ボタン
⑱ 内蔵スピーカー
⑲ インサイドホン端子（Ω）
⑳ マイク / ライン切り替えスイッチ
㉑ 電池 /SD カード挿入部ふた
㉒ USB 端子スライドレバー
㉓ ストラップ取り付け穴
㉔ SD カード挿入部（㉑を開けた状態）
㉕ USB カバー
パソコン接続時に本機内部に収納されます。
㉖ USB 端子

各部のなまえ RR-XS700

① 内蔵マイク
② ズーム / ステレオ切り替えスイッチ
③ 表示部
④ F1、F2 ボタン
表示部に表示された機能の動作を行います。
⑤ メニューボタン
⑥ ＋（音量）ボタン
⑦ ⏮（早戻し）ボタン
⑧ ▶ OK ボタン
⑨ リスト🔍ボタン
⑩ −（音量）ボタン
⑪ ⏭（早送り）ボタン
⑫ マイク / ライン端子（🎤）
⑬ 電源 / ホールドスイッチ
⑭ 停止 ■/ 戻るボタン
⑮ 録音 ● ボタン
⑯ 録音ランプ（動作表示ランプ）
⑰ 消去 /A-B⮌ ボタン
⑱ ズーム用マイク
マイクをズーム（ZOOM）に切り替えた場合は、ズーム用マイクをふさがないでください。
⑲ 内蔵スピーカー
⑳ インサイドホン端子（Ω）
㉑ マイク / ライン切り替えスイッチ
㉒ 電池 /SD カード挿入部ふた
㉓ USB 端子スライドレバー
㉔ ストラップ取り付け穴
㉕ SD カード挿入部（㉒を開けた状態）
㉖ USB カバー
パソコン接続時に本機内部に収納されます。
㉗ USB 端子

画面表示

■録音中の画面表示※

■再生中の画面表示※

■FM ラジオ使用時の画面表示※

● FM ラジオ放送録音時、バックライト（P69）は消灯します。

※ 画面説明用です。同時に表示されることのない内容があります。

単４形アルカリ乾電池（1 本）
⊕と⊖を確認！

- 電池は付属または市販のアルカリ乾電池をお使いください。
- 別売の充電式電池もお使いになれます。（右記）

充電する

別売の充電式電池をご使用の場合は、本機とパソコンを使って充電することができます。
電池残量が空の場合、満充電には約 2 時間かかります。

- パソコンを起動させておく。
- **電池切替を“充電式電池”に切り替えておく。（P69）**
- 本機の電源を切っておく。（P12）

❶ P10 の「充電のしかた」を行う

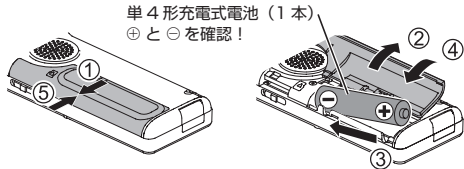
充電式電池は必ず指定の別売品をお買い求めください。
指定の充電式電池以外は動作保証しておりません。
- かっこ【　】内は、2012 年 6 月現在の品番です。

- **【HHR-4AG/2B】**
  2 本組のうち、1 本をご使用ください。
- EVOLTA **【HHR-4LWS/2B、HHR-4MWS/2B】**もご使用になれます。2 本組のうち、1 本をご使用ください。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。（P96）

電池を入れる / 充電する RR-XS500 RR-XS700

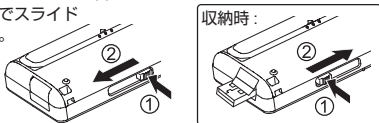
ご購入後は、まず充電してください。
充電にはパソコンを使います。電池残量が空の場合、満充電には約 2 時間かかります。

充電式電池（付属）の入れ方

充電のしかた

- パソコンを起動させておく。
- 電池切替を“充電式電池”にしておく。（P69）（お買い上げ時は“充電式電池”）
- 本機の電源を切っておく。（P12）

❶ 本機の USB 端子を出す

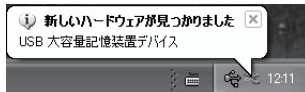
押しながらカチッと音がするまでスライドさせる。

収納時 :

❷ 本機の USB 端子をパソコンに差し込む

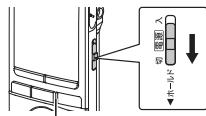
USB 端子の向きを合わせてまっすぐ挿入する。

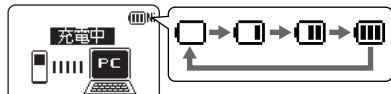
USB 端子を奥までしっかりと挿入する。（USB カバーは本機内部に収納され、挿入の邪魔にはなりません。）

画面が表示されます。

- 初めて接続した場合、パソコンに図のようなメッセージが複数回表示されるので、メッセージが消えるまでは本機を取り外さないでください。表示は Windows XP（OS）の場合です。

- データ転送中は、**絶対に本機および SD カード（P56）を取り外さないでください。**ファイルデータや本機が壊れる可能性があります。

❸ 電源 / ホールドスイッチを［入］側にスライドさせる

❹ 電源 / ホールドスイッチを［切］側にスライドさせる

動作表示ランプ

動作表示ランプが点灯し、充電が始まります。
また、本機の表示部に“充電中”が表示され、電池残量表示が下記のように切り替わります。

充電が開始されない場合は、手順 ❸ からやり直してください。

- 充電中、電源 / ホールドスイッチを［入］側にスライドさせると充電を中断できます。
- 動作表示ランプが消灯すると、充電完了です。

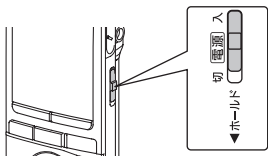
■本機を取り外す

パソコンの画面下のタスクトレイにあるアイコン（Windows XP: [ ]、Windows Vista/Windows 7: [ ]）をダブルクリックし、画面の指示に従って取り外してください。(OS の設定によっては表示されません。)
取り外したあとは、本機の電源が切れます。

- 電池切替を“充電式電池”にしないと充電できません。(P69)
- 充電は必ず付属の充電式電池または指定の充電式電池（別売品）をお使いください。付属品および指定品以外の電池では動作保証しておりません。また、アルカリ乾電池などは充電できません。
- 本機の温度が上がっている場合、指定外の充電式電池などが入っている場合、電池切替を“アルカリ乾電池”にしている場合は、“✕”が表示されます。(P85)
- パソコンが休止状態になったり再起動したりしたときは、充電しない場合があります。
- データ転送中でも充電できます。
- 電池残量を使い切らなくても、継ぎ足し充電が可能です。
- 充電中、本機や充電式電池が熱くなることがありますが異常ではありません。
- 満充電しても電池の使用時間が著しく短くなったときが電池の寿命です。新しい指定の充電式電池（P9）をお買い求めください。
- 市販の単 4 形アルカリ乾電池もお使いいただけます。
- アルカリ乾電池を使用する場合は、電池切替を“アルカリ乾電池”にしてください。(P69)
- 本機とパソコンを直接接続できない場合は、別売の USB 延長ケーブル（RP-CUMB20）をご使用ください。

電源を入れる / 切る

電源を入れるには：

電源 / ホールドスイッチを［入］側にスライドさせると電源が入り、表示部が点灯します。

初めて本機の電源を入れたときは、時計の設定を行ってください。（P14）

電源を切るには：

停止状態で、電源 / ホールドスイッチを［切］側にスライドさせます。

■オートパワーオフ

停止状態で一定時間（お買い上げ時は 15 分）経過すると自動的に電源が切れます。（P69）

オートパワーオフ機能で電源が切れた場合は、電源 / ホールドスイッチを［切］側にスライドさせてから電源を入れてください。

電池の残量表示について

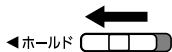
本機の動作中、下記の電池残量表示が表示されます。

- 電池残量がなくなると“□”が点滅します。
  お早めに充電、または電池を交換してください。
- 時計設定を保持するため、電池交換時は事前に交換用の電池を準備しておき、交換は約 1 分以内に行ってください。
- 電池の状態や使用される動作内容によっては、電池切れで電源が切れた場合でも、再び電源を入れるとしばらくお使いいただけることがあります。ただし、電池残量不足のため、動作の途中で急に電源が切れることがあります。
- ファイル消去（P22）、インデックス消去（P48）、ファイル分割（P61）、フォーマット（P70）の実行や録音開始時は電池残量が必要です。電池残量表示が“□”（点滅）のときにこれらの操作を実行すると自動的に電源が切れます。
- 長期間使用しないときは、本機から電池を取り出しておいてください。
- **電池を取り外す場合は電源を切った状態で行ってください。**
  - 電源を入れたままで電池を取り出すと、データが失われることや本機の故障につながることがあります。

ホールド機能

ホールドにすると、ボタン操作を受け付けなくなります。

ホールド機能を使うには：

録音中や再生中に、電源 / ホールドスイッチを[ホールド]側にスライドさせます。

ホールド機能を解除するには：

電源 / ホールドスイッチを［ホールド］と反対側にスライドさせます。

- ホールド中は、電源が入った状態で操作ボタンが押されても操作を受け付けない（“ホールド設定”が表示されます。）ので、録音や再生が中断するなどの誤操作防止になります。
- ホールド中に録音や再生が終了すると、自動的に電源が切れます。
- FM ラジオ受信中のホールド機能については、P29 をご覧ください。

IC レコーダーモード / FM ラジオモード

本機には、音声を録音したり、本機に転送した音楽などを聴いたりするときの「IC レコーダーモード」と FM ラジオを聴くときの「FM ラジオモード」があります。

動作モードを切り替えるには：

［停止 ■/ 戻る］を押して、停止した状態で［F1（ラジオまたは IC レコーダー)］を押す。
押すたびに IC レコーダーモードと FM ラジオモードが切り替わります。

IC レコーダーモード　　FM ラジオモード

準備

時計を合わせる

メニュー

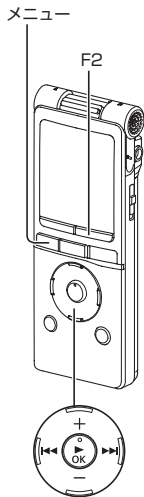
F2

＋

OK

－

お買い上げ時、本機の時計は設定されていません。

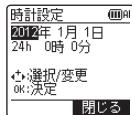
時計はファイル名（P75）や録音日時情報の記録に使用しますので、正しい日時に設定しておいてください。時計設定されていない状態で電源を入れると、手順 ❹ の画面が表示されます。

・電源を入れておく。（P12）

❶ [メニュー] をポンと押す

❷ ＋、－で“共通設定”を選び、[▶ OK] で決定する

❸ ＋、－で“時計設定”を選び、[▶ OK] で決定する

❹ ＋、－で年を設定し、▶▶| を押す

右記イラストは表示例です。

❺ ＋、－で月を設定し、▶▶| を押す

❻ ＋、－で日を設定し、▶▶| を押す

❼ ＋、－で時刻表示方式を選び、▶▶| を押す

24 時間表示は“24h”、12 時間表示は“AM / PM”を選択します。

❽ ＋、－で時を設定し、▶▶| を押す

❾ ＋、－で分を設定する

設定を変更するには、|◀◀、▶▶| で項目を移動し、再度＋、－で設定してください。

❿ [▶ OK] で決定する

日時が設定され、時計動作を開始します。

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

● 時計精度は、室温で月差約± 60 秒です。

● 電池が消耗しきった状態になると、時計設定は解除されます。

ファイルとフォルダについて

ファイルとは

録音した音声データは、録音開始から停止するまでを 1 つのまとまりにして保存されます。この保存データをファイルと呼びます。

フォルダとは

ファイルを入れておく場所です。本機には以下のフォルダがあります。

- マイク録音用の “A､B､C､D” フォルダ（P18）
- 本機に接続した他機器から録音したファイル用の“L”フォルダ（P45）
- FM ラジオ放送録音用の“FM”フォルダ(P29)
- 消去したファイルが入る“ ”（ゴミ箱）フォルダ（P64）
- 音楽用の“M”フォルダ（P58）
- 本機以外で作成されたフォルダが表示される“ ”フォルダ（他機器のフォルダ）（P77）

目的別にフォルダを使い分けて録音しておくと、あとで探すときに便利です。各録音用フォルダには最大 199 ファイルまで録音できます。フォルダは内蔵メモリー内に作成されています。SD カード※（P56）を挿入した場合は、SD カードにも同様のフォルダが作成されます。

※ microSD/microSDHC カードを本書では「SD カード」と表記します。

フォルダを選択する

・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

❶ ［F2（フォルダ)］をポンと押す

❷ +、−、⏮、⏭ でフォルダを選び、［▶ OK］で決定する

“P1 ～ P5” はプレイリストファイル（P59）です。

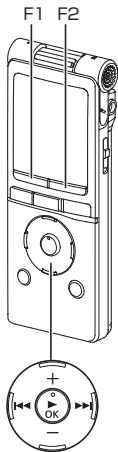
“M” や “ ” のファイルやサブフォルダを選ぶ場合は、P16 をご覧ください。

内蔵メモリーと SD カードを切り替える：

SD カードを入れている場合は、手順 ❷ の画面で SD カードの項目が表示されます。
［F1(メモリー切替)］を押して“内蔵メモリー”または “microSD” を選択してください。

内蔵メモリー選択時

SD カード選択時

SD カード選択時は、画面に“ ”が表示されます。

準備

リスト画面からフォルダやファイルを選択する

• IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

❶ **［リスト♀］を約 1 秒以上押したままにする**
SD カード(P56)を挿入している場合は手順 ❷ へ、挿入していない場合は手順 ❸ へ進む

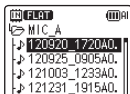
❷ **＋、－で“内蔵メモリー”または“microSD カード”を選び、［▶ OK］で決定する**

リスト画面表示

⌂：フォルダ

❸ **＋、－でフォルダを選び、［▶ OK］で決定する**

MUSIC フォルダや他機器のフォルダ内にフォルダを作成している場合は、手順 ❸ を繰り返して目的のフォルダを選択します。

❹ **＋、－でファイルを選び、［▶ OK］で決定する**
ファイルの再生を開始します。

手順 ❸ で“MUSIC”や“他機器のフォルダ”を選んだ場合、PLAYLIST フォルダ（MUSIC フォルダ選択時のみ）や、パソコンから転送したフォルダやファイルが表示されます。（PLAYLIST の詳細は P59）

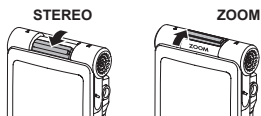
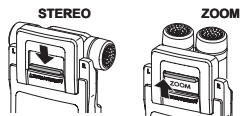
フォルダ（例：Artist A）の下（第 2 階層）にフォルダを作っている場合は、“Artist A”を選んで［▶ OK］を押すとその下のフォルダが表示されます。（フォルダ階層の詳細は P76）

手順 ❹ の画面から ⏮ を数回押すと、手順 ❸ や ❷ の画面などに切り替わります。フォルダ階層を移動して、フォルダやファイルを選ぶことができます。

● 選んだフォルダにファイルがない場合、“No File”が表示されます。
● “A、B、C、D、L、FM、M、🗑、⋯”フォルダは、リスト画面では“MIC_A(MIC_A_SD)、MIC_B(MIC_B_SD)、MIC_C(MIC_C_SD)、MIC_D(MIC_D_SD)、LINE(LINE_SD)、FM(FM_SD)、MUSIC、RECYCLE、他機器のフォルダ”と表示されます。（かっこ内は SD カードの場合）
● 停止中または再生中に、［リスト♀］をポンと押すと、手順 ❹ の画面（現在のフォルダ）を直接表示できます。

マイクポジションを切り替える

マイクポジションを ZOOM（ズーム）に切り替えると前方正面の音を強調して録音することができます。
用途に応じてマイクを切り替えてください。

RR-XS450
RR-XS500

STEREO

ZOOM

マイクポジション	おすすめの用途	※
STEREO（ステレオ）全方向ステレオマイクの機能です。	会議や大人数での演奏など広い範囲の録音に適しています。	
ZOOM（ズーム）前方正面を強調する機能です。	講義やインタビューなど特定方向の録音に適しています。	

※ マイクポジションに応じて表示が変わります。

マイクポジションの機能は内蔵マイク使用時に働きます。外部マイクを接続して録音（P43）する場合や、他機器を接続して本機に録音（P45）する場合は働きません。

RR-XS700

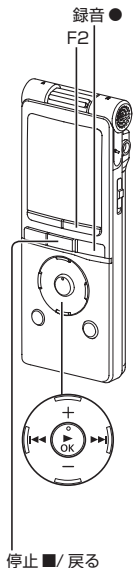
STEREO

ZOOM

マイクポジション	おすすめの用途	※
STEREO（ステレオ）全方向ステレオマイクの機能です。	会議や大人数での演奏など広い範囲の録音に適しています。	
ZOOM（ズーム）前方正面を強調する機能とノイズ低減の機能です。	講義やインタビューなど特定方向の録音に適しています。	

・RR-XS700 では、ZOOM にして録音をするとモノラル録音になります。
・RR-XS700 で ZOOM にして録音する場合は、ズーム用マイク（P7）をふさがないでください。ズーム機能が正しく働かなくなります。

● 本機にはおすすめの録音設定を用途ごとに登録した録音シーン（P30）があり、マイクポジションを切り替えると録音シーンも変わります。（ダイレクトシーン（P33））
● 録音中はマイクポジションを切り替えないでください。意図した録音の特性が得られません。

録音する

- 電源を入れておく。（P12）
- ICレコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)
- マイクポジションを選んでおく。（P17）

❶ ［F2(フォルダ)］をポンと押す

❷ ⏮、⏭ で録音先のフォルダを選び、［▶ OK］で決定する

フォルダ選択
内蔵メモリー
A B C D L FM
M P1 P2 P3 P4 P5
選択 OK:決定

マイク録音の場合は、“A、B、C、D”フォルダから選んでください。
（お買い上げ時は“A”）
“A、B、C、D”以外を選んだ場合、自動的に“A”へ録音されます。

❸ ［録音 ●］を押す（録音開始）

メニュー | 停止 ■ | 録音 ●

録音ランプが点灯します。

❹ ［停止 ■/ 戻る］を押して、録音を停止する

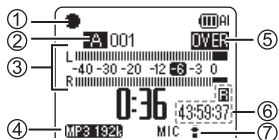
録音を一時停止する：

❶ 録音中に［録音 ●］を押す

録音ランプが点滅します。

❷ 録音を再開するときは、もう一度［録音 ●］を押す

- 必要に応じて録音モードやマイク感度を変更してください。（P35、36）
- 録音シーンに対応したおすすめの録音設定を一括で呼び出せる録音シーン機能があります。(P30)
- 録音中のファイルサイズが 2 GB を超える場合は、2 GB で一度録音を停止し、引き続き新しいファイルで録音を再開します。録音停止から録音再開までの間（2 秒程度）の内容は録音されません。
- 録音中、本機を手でこすったり物が触れると、マイクを通して、ガサガサという音が録音されます。 お気をつけください。

録音中の画面表示：

① 動作状態表示
● ：録音中
Ⅱ ：録音一時停止中 / 録音スタンバイ中 / 過去録音待機中

② フォルダの種類（P15）、ファイル番号

③ レベルメーター
本機へ入力される音量をステレオ（L/R）で表示します。RR-XS700 でマイクポジションを ZOOM にしている場合は、モノラルの表示に切り替わります。

④ 録音モード（P35）

⑤ OVER 表示
入力音量が大きすぎてレベルメーターが振り切れると、"OVER" が表示されます。

⑥ 録音残り時間
選択中の録音モードの場合の録音残り時間（録音可能時間）を表示します。

⑦ マイク感度（P36）

その他の画面表示については、P8 をご覧ください。

上手に録音するために

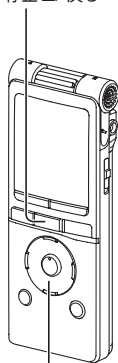
本機は高感度マイクを搭載しているため、録音中マイクに直接息や風が当たると風切り音として録音されたり音声が聞き取りにくくなる場合があります。

1. 体で風をさえぎるといった方法で本機に風が直接当たらない状態にすると改善できます。

2. 口述録音の場合には本機を口の正面からずらすか距離を離してご使用ください。

Low Cut フィルタ（P36）を ON にすると低い周波数の音をカットするので、風切り音が軽減する場合があります。

● 内蔵メモリーや SD カードの使用状況によっては、録音時（特に PCM 録音時）に音とびが発生することがあります。一度フォーマット（P70）してから録音することをおすすめします。

再生する

・ICレコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)
・フォルダを選んでおく。（P15）
・ファイルを選んでおく。（右記）

❶ [▶ OK] をポンと押す（再生開始）

音量を調整する

音量を大きくする：＋ を押す
音量を小さくする：− を押す
0 から 20 までの間で調整できます。
（お買い上げ時は“10”）
音量が 17 以上の状態で電源を切った場合、次に電源を入れたとき、音量は 16 に設定されます。

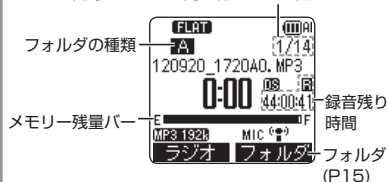
再生中の操作

とび越し（スキップ）：
⏮、⏭ をポンと押す
ファイルの途中で ⏮ を押すと、そのファイルの先頭にとびます。前のファイルに戻る場合は、ファイル先頭で約 1 秒以内に ⏮ を押します。

早戻し / 早送り（サーチ）：
⏮、⏭ を押したままにする

停止する：[停止 ■/ 戻る] を押す

ファイルの選択

⏮、⏭ で選びます。
押すたびにファイル番号が変わります。

停止中の画面例

リスト画面からもファイルを選択できます。(P16)

● 最後に再生したファイルとその停止位置をフォルダごとに記憶しています。

情報を確認する

ファイル情報や現在時刻を確認することができます。

・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

❶［停止 ■/ 戻る］を押す

情報画面が表示されます。

❷ ＋、−で情報画面を上下に動かす

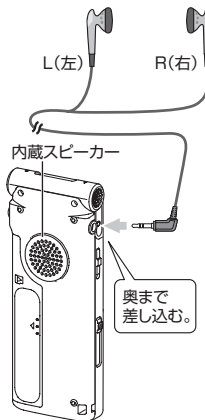
情報画面では以下の内容が確認できます。

現在時刻　　：現在の時刻
録音残り時間：現在設定中の録音モードで録音可能な残り時間
録音日時※　：選択中のファイルを録音した日と時刻
総再生時間　：選択中のファイルの長さ
ファイル形式：選択中のファイルの形式

※ M（MUSIC）フォルダ、▣（他機器のフォルダ）では表示されません。

情報画面を閉じるには：［停止 ■/ 戻る］を押す

インサイドホンで音声を聴く

付属のステレオインサイドホンを接続してください。
（プラグタイプ：φ 3.5 mm ステレオミニプラグ）

録音中の音声をモニターする

録音中のモニター音声を聴くことができます。

音量を調整する：

＋、− を押すと音量を調整できますが、録音レベル（P37）には影響しません。

再生中の音声を聴く

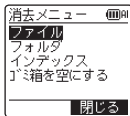
再生中の音声は内蔵スピーカーから聞こえます。周りが騒がしく、音が聞き取りにくい場合は、インサイドホンでお聞きください。

・インサイドホンを接続すると、内蔵スピーカーからの音声は出なくなります。

● FM ラジオをスピーカーで聴く設定にしている場合は、インサイドホンを接続していても内蔵スピーカーから音声が出ます。（P28）

ファイルを消去する

- 消去したいファイルを選んでおく。(P20)
- IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

❶ [消去 /A-B⭯] を押す

❷ +、−で“ファイル”を選び、[▶ OK] で決定する

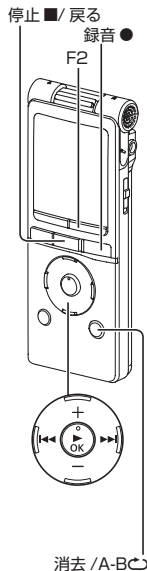
❸ +、−で“実行”を選び、[▶ OK] で決定する

消去中は、動作表示ランプが点滅し、“消去実行中”と表示されます。消去の完了までに数分かかる場合があります。
手順 ❷ で“フォルダ”を選択すると、選択中のフォルダの全ファイル消去画面に移ります。

消去画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

リスト画面から消去する

リスト画面 (P16) でファイルを選び [消去 /A-B⭯] を押すとそのファイルの消去画面に移ります。フォルダを選んで [消去 /A-B⭯] を押すとそのフォルダの全ファイル消去画面に移ります。

● ゴミ箱機能を ON にしている場合、ファイルはゴミ箱 (🗑) フォルダに移動します。ゴミ箱機能が OFF 設定の場合、ファイルはゴミ箱 (🗑) フォルダに移動せず完全に消去されます。(P64、70)
● MUSIC (M)、他機器のフォルダ (▭) のファイルはゴミ箱機能の設定に関わらず、完全に消去されます。
● ファイル消去後、本機に表示されるファイル番号は前詰めされます。(P75)
● パソコンから転送した読み取り専用の WMA/MP3 音楽ファイルや本機で再生できないファイル、パソコンで作成した MUSIC フォルダや他機器のフォルダのサブフォルダ (P76、78) は、本機では消去できません。パソコンで消去してください。(P74)

サウンドモニター機能

マイクで集音した音を強調、調整してステレオインサイドホンで聴くことができます。本機には 4 つのサウンドモニターシーンがあります。

- IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)
- インサイドホンを接続しておく。(P21)

1 [▶ OK] を約 1 秒以上押したままにする

音量が 17 以上の状態でサウンドモニターを起動した場合、音量は 16 に設定されます。

2 ⏮、⏭ でサウンドモニターシーンを選ぶ

3 +、−で音量を調整する

サウンドモニター機能を停止するには：

[停止 ■/ 戻る] を押す。

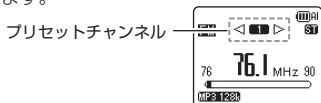
サウンドモニターシーン	効果と用途
◀【レクチャー】▶	音声帯域を強調し、会話など人の声の聞き取りに適しています。
◀【テレビ】▶	広い周波数帯域で集音します。臨場感あふれるテレビ視聴などに適しています。
◀【パーティー】▶	全方向からの音声を強調して集音します。複数人での歓談などに適しています。
◀【ホール】▶	低・中音域を強調します。発表会など、広い屋内での音声などの聞き取りに適しています。

- サウンドモニター中に、[録音 ●] を押すと録音を開始します。
  - 選択中のサウンドモニターシーンで強調、調整された音声が録音されます。
  - 録音の場合は、サウンドモニター機能を設定する前に選ばれていたフォルダに録音されます。
  - 過去録音機能(P42)が ON の場合は、サウンドモニター中に[録音 ●]を約 1 秒以上押すと、過去録音待機の状態になります。
  - 録音モード（P35）はすべてのサウンドモニターシーンで「MP3 192kbps」となります。
- 接続した外部マイク（P43）の音声でも、サウンドモニターを使って聴いたり録音したりできます。（接続したマイクの特性によっては、内蔵マイクを使用したときと効果が異なる場合があります。）
- ハウリングを防止するため、インサイドホンとマイクを近づけないでください。
- サウンドモニター中にマイクポジションを切り替えると、音量設定によっては大きな操作音が入る場合があります。

FM ラジオを聴く

本機で FM ラジオの放送を聴いたり、録音したりすることができます。
ステレオインサイドホンのコードが受信のためのアンテナとなります。インサイドホンを本機のインサイドホン端子に奥までしっかりと差し込み、コードを伸ばしてお使いください。

選局モードを選択する

本機には、FM ラジオの周波数を合わせて聴くマニュアル選局モードと、登録した放送局を選局するプリセット選局モードの 2 つの選局モードがあります。プリセット選局モード画面ではプリセットチャンネルが表示されます。マニュアル選局モード画面では“マニュアル選局”と表示されます。

FM ラジオモードで［▶ OK］を押すたびにプリセット選局モードとマニュアル選局モードが切り替わります。

周波数を合わせて聴く（マニュアル選局モード）

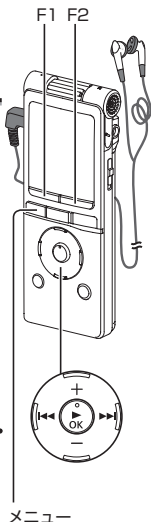
1 ［F1（ラジオ）］を押して、FM ラジオモードにする

2 マニュアル選局モードに切り替える（左記）

3 ⏮、⏭ を押して、周波数を合わせる（0.1 MHz 間隔）

4 ＋、－で音量を調整する

● 手順 3 で ⏮、⏭ を約 1 秒押すと画面に“サーチ中. . . ”と表示され、自動的に周波数が変わり、放送局を受信すると自動で停止します。
- ・電波が弱く受信状態が良くない場合は、自動で停止しない場合があります。
- ・周囲に妨害電波などがある場合は、妨害電波を受信して停止することがあります。

● FM ラジオを聴くときは、窓際などラジオの電波を受信しやすい場所でご使用ください。
● テレビやパソコンなどの近くで FM ラジオを聴くと受信状態が悪くなることがあります。このような場合は、本機を離してご使用ください。

お使いになる地域を設定する（エリアバンド機能）

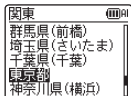
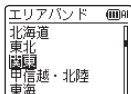
お使いになる地域を設定するとその地域の放送局を簡単に選局することができます。

❶ ［メニュー］をポンと押す

❷ ＋、−で“FM 設定”を選び、［▶ OK］で決定する

❸ ＋、−で“エリアバンド”を選び、［▶ OK］で決定する

❹ ＋、−で受信する地域を選び、［▶ OK］で決定する
（お買い上げ時は“ユーザー”）

❺ ＋、−で受信する都道府県を選び、［▶ OK］で決定する
設定した地域の放送局がプリセットチャンネルに登録されます。

設定画面を閉じるには［F2（閉じる）］を押す。

登録された放送局を聴く（プリセット選局モード）

プリセット選局するには、あらかじめ放送局をプリセットチャンネルに登録しておいてください。

- 地域設定で放送局を登録する（左記）
- 放送局を自動で登録する（P26）
- 放送局を個別に登録する（P26）

❶ ［F1（ラジオ）］を押して、FM ラジオモードにする

❷ プリセット選局モードにする（P24）

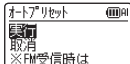
❸ ⏮、⏭ を押して、プリセットチャンネルを切り替える
エリアバンドを設定すると画面に放送局名が表示されます。

基本操作

放送局を自動で登録する

お使いの場所で受信できる放送局を自動で登録することができます。（オートプリセット機能）

・インサイドホンを接続しておく。（P21）

1. ［メニュー］をポンと押す
2. ＋、－で“FM 設定”を選び、［▶ OK］で決定する
3. ＋、－で“オートプリセット”を選び、［▶ OK］で決定する
4. ＋、－で“実行”を選び、［▶ OK］で決定する

“オートプリセット中 ...”と表示され、下限周波数から選局が始まり、受信した放送局が自動的に“エリアバンド”の“ユーザー”に登録されます。上限周波数に達すると選局を終了し、プリセットチャンネル 1 が表示され、登録された放送局を受信します。

● 電波が弱く受信状態が良くないときは、放送局が登録されません。この場合、76.0 MHz がプリセットチャンネル 1 に登録されて終了します。また、妨害電波などがあるときは、受信可能な放送局以外の周波数が登録される場合があります。

● 登録される放送局は最大 20 局です。

放送局を個別に登録する

受信中の放送局をプリセットチャンネルへ登録することができます。（最大 20 チャンネル）

1. 登録したい放送局を選局する（P24）
2. ［メニュー］を押す
3. ＋、－で“FM 設定”を選び、［▶ OK］で決定する
4. ＋、－で“プリセット編集”を選び、［▶ OK］で決定する
5. ＋、－で“登録”を選び、［▶ OK］で決定する
6. ⏮、⏭ で登録したいプリセットチャンネルを選び、［▶ OK］で決定する

選んだチャンネルに放送局が登録されます。

設定画面を途中で閉じるには［F2（閉じる）］を押す。

● 地域を設定（P25）したあとでプリセットチャンネルを登録する場合は、登録内容が地域のプリセットチャンネルに上書きされます。それ以外の場合は、登録内容が“ユーザー”のプリセットチャンネルに上書きされます。

F2

メニュー

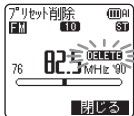
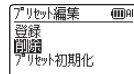
プリセットチャンネルを削除する

❶ **プリセット選局モードで削除したい放送局を選ぶ（P25）**

❷ **［メニュー］を押す**

❸ **＋、－で“ FM 設定”を選び、［▶ OK］で決定する**

❹ **＋、－で“プリセット編集”を選び、［▶ OK］で決定する**

❺ **＋、－で“削除”を選び、［▶ OK］で決定する**

❻ **［▶ OK］で決定する**

選んだ放送局が削除され、削除した次のチャンネルの放送局を受信します。（次の放送局がない場合は、チャンネル 1 に戻ります。）

設定画面を途中で閉じるには［F2（閉じる）］を押す。

プリセットチャンネルを初期化する

変更を加えたエリアバンドをお買い上げ時の状態に戻します。

・FM ラジオモードにしておく。（P24）

❶ **初期化したいエリアバンドを選んでおく（P25）**

❷ **［メニュー］を押す**

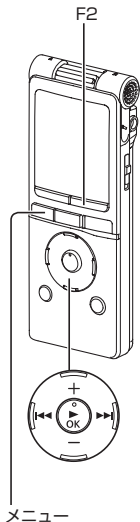
❸ **＋、－で“ FM 設定”を選び、［▶ OK］で決定する**

❹ **＋、－で“プリセット編集”を選び、［▶ OK］で決定する**

❺ **＋、－で“プリセット初期化”を選び、［▶ OK］で決定する**

❻ **＋、－で“実行”を選び、［▶ OK］で決定する**

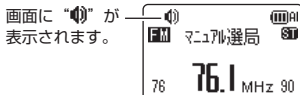
選択したエリアバンドのプリセットチャンネルがお買い上げ時の状態に戻ります。

設定画面を途中で閉じるには［F2（閉じる）］を押す。

FM ラジオをスピーカーで聴く

内蔵スピーカーで FM ラジオを聴くことができます。
内蔵スピーカーで FM ラジオを聴く場合も、アンテナとしてインサイドホンは接続したままにしておいてください。

1. ［メニュー］をポンと押す
2. ＋、－で“FM 設定”を選び、［▶ OK］で決定する
3. ＋、－で“出力設定”を選び、［▶ OK］で決定する
4. ＋、－で“スピーカー”を選び、［▶ OK］で決定する
（お買い上げ時は“インサイドホン”）
インサイドホン：インサイドホン接続時は、インサイドホンから出力します。
スピーカー：スピーカーから出力します。（インサイドホンからは出力されません。）

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

画面に“🔊”が表示されます。

ステレオ / モノラルを切り替える

受信状態が悪いとき、ステレオからモノラルに切り替えると聞き取りやすくなる場合があります。

1. ［メニュー］をポンと押す
2. ＋、－で“FM 設定”を選び、［▶ OK］で決定する
3. ＋、－で“ステレオ / モノラル切替”を選び、［▶ OK］で決定する
4. ＋、－で“モノラル”を選び、［▶ OK］で決定する
（お買い上げ時は“ステレオ”）

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

画面に“MONO”が表示されます。ステレオの場合は“ST”が表示されます。

情報を確認する

現在時刻や録音残り時間を確認することができます。

・FM ラジオモードで停止状態にしておく。(P13)

❶ [停止 ■/ 戻る] を押す
情報画面が表示されます。

❷ ＋、－で情報画面を上下に動かす
情報画面では、現在時刻、録音残り時間、録音先の情報が確認できます。

情報画面を閉じるには:[停止 ■/ 戻る] を押す

ホールド機能(FM ラジオモード)

ホールドにすると、ボタン操作を受け付けなくなります。

・FM ラジオモードで停止状態にしておく。(P13)

ラジオ録音中(右記)は手順 ❷ を行ってください。

❶ [F2(ホールド)] を押す
ホールド設定画面が表示されます。
・[F2(閉じる)] を押すと元の画面に戻ります。

❷ 電源 / ホールドスイッチを [ホールド] 側にスライドさせる

ホールド機能を解除するには:

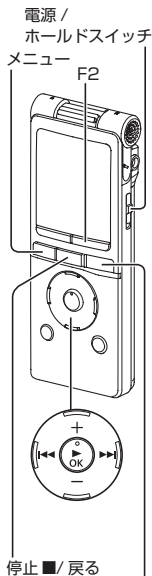
電源 / ホールドスイッチを [ホールド] と反対側にスライドさせます。

FM ラジオを録音する

・FM ラジオを受信しておく。

❶ [録音 ●] を押す
録音ランプが点灯します。
(一時停止中は点滅)

停止する:[停止 ■/ 戻る] を押す

● FM ラジオの録音ファイルは、"FM" フォルダ(SD カードが選ばれているときは "FM_SD" フォルダ)に保存されます。
● FM ラジオの録音モードは、「MP3 128kbps」のみです。
● 録音中、表示部のバックライトは消灯します。
● 受信状態が悪い場合(ノイズが入っている場合)に録音すると、ノイズが増幅されることがあります。耳で聴いてノイズが聴こえなくても、録音するとノイズが入る場合があります。窓際など、電波状態の良い場所でラジオを録音してください。

録音シーンを選択する

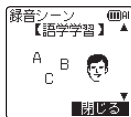
本機には録音シーンごとにおすすめの録音設定があり、録音シーンを選ぶことで手軽に録音することができます。

録音 ●
メニュー
F2

・ICレコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

❶ ［メニュー］を約 1 秒以上押したままにする

録音シーンが表示されます。

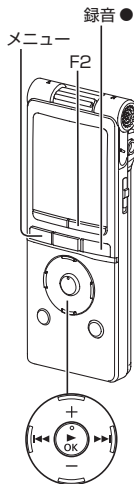
❷ ＋、－で録音シーンを選び、［▶ OK］で決定する

“ユーザー” を選んだ場合、手順 ❸ は不要です。

❸ ＋、－で“呼出し”を選び、［▶ OK］で決定する

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

選択した録音シーンが表示されます。

［録音 ●］を押すと、選択した録音シーンの設定で録音されます。

● 手順 ❷ で“ユーザー”を選ぶと録音シーンを設定する直前の状態に戻り、録音シーンの表示が消えます。
● 録音シーンの設定後、マイク録音モード（P35）の設定などを変更すると“ユーザー”に現在の設定が上書きされ、録音シーンの表示が消えます。
● 録音シーンはマイク録音の場合に働きます。他機器と接続し、マイク / ライン切り替えスイッチを［ライン］にしている場合（P45)、録音シーンは働きません。
● 録音シーンは、［メニュー］をポンと押し、“マイク録音設定”から“録音シーン”を選んでも設定できます。

■録音シーンのお買い上げ時の設定

録音シーン（用途）／設定項目	語学学習	カラオケ	楽器演奏	会話	会議	講義	お気に入り
	発音練習など自分の声の録音に。	カラオケなど音量が大きな録音に。	楽器演奏など高音質な録音に。	インタビューや会話など声の録音に。	広い音声帯域を集音、会議室での録音に。	教室での講義などの音の録音に。	お好みの設定を登録する場合に。
録音モード（P35）	MP3：192 kbps	MP3：320 kbps	PCM：44.1 kHz	MP3：64 kbps	MP3：192 kbps	MP3：192 kbps	MP3：192 kbps
マイク感度（P36）	高	高	高	高	高	高	高
録音レベル調整（P37）	自動	手動※	手動※	自動	自動	自動	自動
Low Cut フィルタ（P36）	ON	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF
録音ピークリミッター（P38）	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
セルフタイマー録音（P40）	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
VOS 設定（P41）	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
過去録音設定（P42）	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

※ あらかじめ適切な録音レベルに調整しておくことでよりよい音で録音できます。詳しくは「手動で録音レベルを調整する」（P37、38）をご覧ください。

録音シーンの設定を変更する

各録音シーンの設定内容を、お好みに応じて変更することができます。

• IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

❶ [メニュー]を約 1 秒以上押したままにする

❷ +、−で変更したい録音シーンを選び、[▶ OK]で決定する

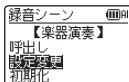
❸ +、−で“設定変更”を選び、[▶ OK]で決定する

❹ +、−で変更したい項目を選び、[▶ OK]で決定する

❺ +、−で設定を選び、[▶ OK]で決定する

手順 ❹ 、❺ を繰り返して他の項目を変更します。

❻ 設定が終了したら +、−で“設定完了”を選び、[▶ OK]で決定する

変更した録音シーンを選択する場合は、“呼出し”を選んでください。(P30)

設定画面を閉じるには[F2(閉じる)]を押す。

録音シーンの設定を初期化する

変更を加えた録音シーンの設定を個別にお買い上げ時の状態に戻します。

• IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

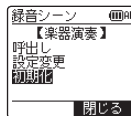
❶ [メニュー]を約 1 秒以上押したままにする

❷ +、−で初期化したい録音シーンを選び、[▶ OK]で決定する

❸ +、−で“初期化”を選び、[▶ OK]で決定する

❹ +、−で“実行”を選び、[▶ OK]で決定する

選択した録音シーンの設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

初期化した録音シーンを選択する場合は、“呼出し”を選んでください。(P30)

設定画面を閉じるには[F2(閉じる)]を押す。

ダイレクトシーン

マイクポジションの切り替えに連動させて録音シーン（P30）を切り替える機能です。（お買い上げ時は“ON”）
各マイクポジションに割り当てられている録音シーンに切り替わります。

RR-XS450 **RR-XS500**

マイクポジション	録音シーン※
STEREO（ステレオ）	STEREO【会議】 画面は RR-XS450
ZOOM（ズーム）	ZOOM【講義】 画面は RR-XS450

※ お買い上げ時の設定

RR-XS700

マイクポジション	録音シーン※
STEREO（ステレオ）	STEREO【会議】
ZOOM（ズーム）	ZOOM【講義】

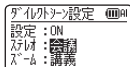
RR-XS700 では、ZOOM にして録音をするとモノラル録音になります。

- お買い上げ時、STEREO には【会議】、ZOOM には【講義】が割り当てられています。
  割り当てる録音シーンは変更することもできます。7 つの録音シーンが用意されていますので、お好みに応じて変更してください。（P34）
- マイクポジションは停止状態で切り替えてください。録音や再生などの動作中は、切り替えても録音シーンが変わりません。
- 録音シーンを連動させずにマイクのステレオ / ズーム機能を切り替えたい場合は、ダイレクトシーン設定を OFF にしてください。（P34）
- 外部マイク接続時は、マイクポジションを切り替えても、録音シーンは切り替わりません。

ダイレクトシーン設定を変更する

• IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

1. [メニュー] をポンと押す
2. +、−で "マイク録音設定" を選び、[▶ OK] で決定する
3. +、−で "ダイレクトシーン設定" を選び、[▶ OK] で決定する
4. +、−でマイクポジション ("ステレオ" または "ズーム") を選び、[▶ OK] で決定する

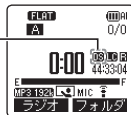
5. +、−で録音シーンを選び、[▶ OK] で決定する

他のマイクポジションの録音シーンを変更したい場合は、手順 4、5 で設定してください。

設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

ダイレクトシーン設定を OFF にする

• IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

1. [メニュー] をポンと押す
2. +、−で "マイク録音設定" を選び、[▶ OK] で決定する
3. +、−で "ダイレクトシーン設定" を選び、[▶ OK] で決定する
4. +、−で "設定" を選び、[▶ OK] を押す
5. +、−で "OFF" を選び、[▶ OK] で決定する

設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

• 再生中や録音中および録音スタンバイ中は、ダイレクトシーン設定を "ON" に設定していても "DS" は表示されません。

録音モードを選択する

録音時の音質を変更することができます。目的に応じて最適な音質を選ぶことができます。

メニュー
F2

・ICレコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

❶ ［メニュー］をポンと押す

❷ ＋、－で“マイク録音設定”を選び、［▶ OK］で決定する

❸ ＋、－で“マイク録音モード”を選び、［▶ OK］で決定する

❹ ＋、－で設定（PCM サンプリング周波数 /MP3 ビットレート）を選び、［▶ OK］で決定する

（お買い上げ時は“MP3 192kbps”）

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

選択した録音モードが表示されます。

● 録音モードの設定によって音質と録音可能時間（P93）が変わります。

録音方式	PCM 44.1 kHz	MP3 320 kbps	MP3 192 kbps	MP3 128 kbps	MP3 64 kbps	MP3 32 kbps

● 録音モードが“MP3 32kbps”の場合、モノラル録音になります。

● RR-XS700 では、マイク録音モードにかかわらず、マイクポジションを ZOOM にして録音をするとモノラル録音になります。

マイク感度を切り替える

音源の音量に応じてマイク感度を切り替えてください。音源の音量が大きい場合は感度を「低」に、音量が小さい場合は感度を「高」に設定します。

• IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

❶ [メニュー] をポンと押す

❷ +、−で“マイク録音設定”を選び、[▶ OK] で決定する

❸ +、−で“マイク感度”を選び、[▶ OK] で決定する

❹ +、−で“感度:高”または“感度:低”を選び、[▶ OK] で決定する
（お買い上げ時は“感度：高”）

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

※ マイクポジションが ZOOM の場合、
感度：高は“”、感度：低は“”が表示されます。

録音中の低域ノイズを抑える

マイク録音時に低い周波数の音を減衰させせます。会議録音などで気になる空調設備の音などを低減したいときに効果的です。(Low Cut フィルタ)

• IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

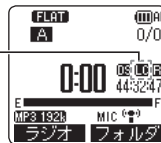
❶ [メニュー] をポンと押す

❷ +、−で“マイク録音設定”を選び、[▶ OK] で決定する

❸ +、−で“Low Cut フィルタ”を選び、[▶ OK] で決定する

❹ +、−で“ON”を選び、[▶ OK] で決定する
（お買い上げ時は“OFF”）

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

“”が表示されます。

手動で録音レベルを調整する（マニュアル録音レベル調整）

本機の録音レベル調整には自動と手動の設定があります。自動の場合、自動的に録音レベルを調整し、音割れや歪みを抑えることができます。楽器演奏や自然の音など原音の音量レベルを忠実に録音する場合などは、手動にしてください。（お買い上げ時は“自動”）

メニュー
F2
録音 ●

録音レベル調整を手動にする

・ICレコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

❶ [メニュー] をポンと押す

❷ ＋、－で“マイク録音設定”を選び、[▶ OK] で決定する

❸ ＋、－で“録音レベル調整”を選び、[▶ OK] で決定する

❹ ＋、－で“手動”を選び、[▶ OK] で決定する

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

録音レベルが表示されます。

手動で録音レベルを調整する

・録音レベル調整を手動にしておく。（録音レベル調整が自動の場合は、録音スタンバイになりません。）

❶ [録音 ●] を約 1 秒以上押したままにする

録音スタンバイになります。

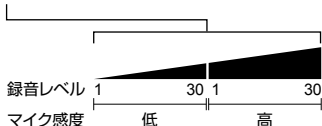
点滅します。

❷ 録音する音源にマイクを向ける

❸ ⏮、⏭ で録音レベル（P38）を調整する

0 から 30 の範囲で調整できます。（お買い上げ時は“15”）

[録音 ●] を押すと録音を開始します。

● レベルメーターが振り切れて“OVER”が表示される場合は、録音レベルが高すぎます。音が最も大きくなった場合でも“-6”程度になるまで調整してください。
● 録音時の入力レベル（本機へ入力される音量）は、録音レベルとマイク感度の設定を組み合わせた内容になります。
入力レベルのイメージは以下のようになります。

● 録音レベル 0 の場合は無音が録音され、画面には“消音中”と表示されます。
● 録音レベルは、録音中、録音一時停止中にも調整できます。
● 録音スタンバイ時に［メニュー］を押すと、マイク感度(P36)、Low Cut フィルタ(P36)、録音 EQ(P39)の設定ができます。

録音ピークリミッターを ON にする

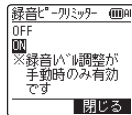
録音レベル調整を手動にしている場合でも、過大な音量が入力されたときには録音レベルを自動調整し、音の歪みを抑えます。

・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

❶ ［メニュー］をポンと押す

❷ +、−で“マイク録音設定”を選び、［▶ OK］で決定する

❸ +、−で“録音ピークリミッター”を選び、［▶ OK］で決定する

❹ +、−で“ON”を選び、［▶ OK］で決定する
（お買い上げ時は“OFF”）

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

● 録音レベル調整が自動の場合は、上記設定に関わらず録音ピークリミッター機能が働きます。
●“OVER”は、録音ピークリミッターの設定に関わらず、レベルメーターが振り切れた場合に表示されます。

録音 EQ を設定する

録音 EQ を使うと、低 / 中 / 高音域の録音レベルを好みに応じた設定にして録音できます。
録音 EQ には、7 種類の固定モードと周波数帯別に録音レベルが設定できる「USER」モードがあります。

・録音レベル調整を手動にしておく。(P37)(録音レベル調整が自動の場合は、録音スタンバイになりません。)

1 [録音 ●] を約 1 秒以上押したままにする

録音スタンバイになります。

2 [メニュー] を押す

3 +、−で“録音 EQ”を選び、[▶ OK] で決定する

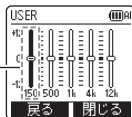
4 +、−で録音 EQ モードを選ぶ

“USER”以外を選んだ場合は手順 5 へ進む

“USER”を選んだ場合の設定：

①手順 4 のあと、[F1 (編集)] を押す

②⏮、⏭ で変更したい周波数帯を選び、+、−で録音レベル (± 12 dB) を調整する

③変更したい周波数帯の設定がすべて完了したら、手順 5 へ進む

5 [▶ OK] で決定する

設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

設定画面を閉じると、EQ モード名は表示されません。

[録音 ●] を押すと録音を開始します。

EQ モード	効果と用途
FLAT	特定の音域を強調しない (基本の) モードです。
EXTRA BASS	低音域をより強調します。
BASS	低音域をやや強調します。
MIDDLE	中音域を強調します。
BASS&TREBLE	低音域と高音域をやや強調します。
TREBLE	高音域をやや強調します。
EXTRA TREBLE	高音域をより強調します。
USER	150 Hz、500 Hz、1 kHz、4 kHz、12 kHzの周波数帯の調整ができます。

(お買い上げ時は“FLAT”)

● 録音レベル調整が自動の場合、録音 EQ は働きません。
● 手順 4 の画面で [F1 (確認)] を押すと詳細を確認できます。もう一度 [F1 (戻る)] を押すと元の画面に戻ります。

セルフタイマー録音

［録音●］を押してから録音を開始するまでの時間を選択できます。楽器の練習など、録音までの準備を一定時間必要とする録音に最適です。

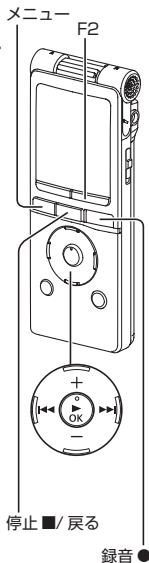
・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

1. ［メニュー］をポンと押す
2. +、−で“マイク録音設定”を選び、［▶ OK］で決定する
3. +、−で“セルフタイマー録音”を選び、［▶ OK］で決定する
4. +、−で時間を選び、［▶ OK］で決定する

（お買い上げ時は“OFF”）

セルフタイマー録音
OFF
5秒
10秒
30秒
閉じる

設定画面を閉じるには［F2（閉じる）］を押す。

● ［録音●］を押すと、カウントダウンを開始し、設定した時間が経過したあと、録音を開始します。カウントダウン中は録音ランプが点滅します。
● セルフタイマーの時間を一度設定すると、セルフタイマーの設定を OFF にするか、設定初期化（P70）を行うまで、設定は保持されます。
● カウントダウン中に［録音●］を押すと、すぐに録音を開始します。
● カウントダウン中に［停止■/ 戻る］を押すと、セルフタイマー録音を中止します。

無駄な録音を防ぐ（VOS 設定）

VOS（Voice Operation System）を設定すると、マイク録音時、無音状態が約 2 秒間続くと自動的に録音を一時停止します。音声を感知すると再び録音を開始します。

・録音レベル調整を自動にしておく。（P37）
・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

❶［メニュー］をポンと押す

❷ +、−で“マイク録音設定”を選び、［▶ OK］で決定する

❸ +、−で“VOS 設定”を選び、［▶ OK］で決定する

❹ +、−で“ON”を選び、［▶ OK］で決定する
（お買い上げ時は“OFF”）

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

VOS 録音を開始するには［録音 ●］を押す。

VOS 動作レベルの調整：

VOS 録音中に ⏮、⏭ を押します。
（お買い上げ時は“3”）

● 1 〜 5 段階で調整できます。
● 録音する音声が小さい場合は、VOS 値（感知レベル）を大きくします。音声が大きい場合は、VOS 値を小さくします。

● VOS 設定を ON にしても、録音レベル調整が手動の場合（P37)、VOS 録音になりません。
● 大切な録音をするときは、VOS 設定を OFF に設定してください。
● Low Cut フィルタを ON にすると低域の音がカットされるため、正しく VOS 録音されない場合があります。そのような場合は、Low Cut フィルタを OFF にしてください。（P36）
● 無音状態で録音一時停止になると、“VOS”が点滅します。この録音一時停止中から［録音 ●］を押すと通常の録音一時停止になり“VOS”が点灯になります。

過去録音機能

過去録音機能の待機状態から録音をスタートさせると約3秒前の音声から録音することができます。

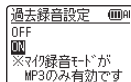
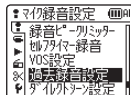
過去録音設定を ON にする

・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

❶ [メニュー] をポンと押す

❷ +、−で“マイク録音設定”を選び、[▶ OK] で決定する

❸ +、−で“過去録音設定”を選び、[▶ OK] で決定する

❹ +、−で“ON”を選び、[▶ OK] で決定する
(お買い上げ時は“OFF”)

設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

過去録音機能を使って録音する

録音モードが PCM の場合、過去録音機能は働きません。

・録音モードを MP3 にしておく。(P35)
・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

❶ [録音 ●] を約 1 秒以上押したままにする

過去録音待機になります。
1、2、3 秒と変化し、3 秒で止まります。以降、約 3 秒前の音声から録音されるようにデータを蓄積しながら待機します。

❷ [録音 ●] を押す

録音ランプが点灯し、蓄積していた音声データに続けて録音を開始します。

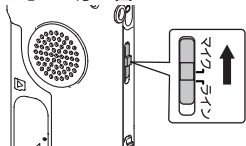
停止する:[停止 ■/ 戻る] を押す

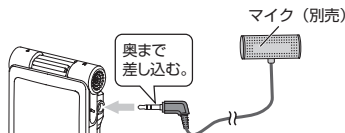
● [録音 ●] を押したときの音も録音されます。(内蔵マイク使用時など)
● 録音レベル調整 (P37) を手動にしている場合、過去録音待機になると同時に録音スタンバイになります。
● マイクポジション (P17) を切り替えた場合や、[メニュー] を押したり、停止操作などで過去録音待機画面が解除されたあと、再び待機状態にした場合は、その時点から新たに音声データの蓄積を行います。
● 過去録音機能は録音開始時のみ働く機能です。録音一時停止中には働きません。
● 録音残り時間が約 10 秒未満の場合、過去録音機能は働きません。
● サウンドモニター中 (P23)、過去録音の録音手順 ❶、❷ を行うと、過去録音を実行します。

外部マイクを接続して録音する

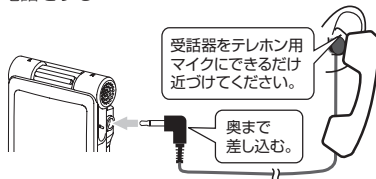
本機のマイク / ライン端子に外部マイクを接続して録音することができます。

• IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

❶ マイク / ライン切り替えスイッチを［マイク］に切り替える

❷ 外部マイクを接続する

外部マイクの接続：

プラグインパワーで φ 3.5 mm ミニプラグのマイクを使用してください。（推奨品：RP-VC201）

テレホン用マイクの接続：

①テレホン用マイクのプラグを本機のマイク / ライン端子に接続する
②テレホン用マイクを、受話器を当てる側の耳に挿入する
③電話をする

テレホン用マイク（別売）
（推奨品：RP-WA1A）
φ 3.5 mm モノラルミニプラグ

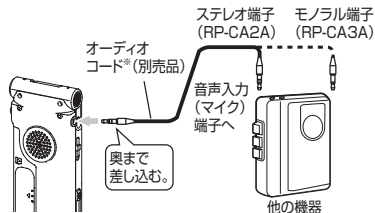
"EXT" が表示されます。

❸ ［録音 ●］を押して、録音を開始する

録音操作については、P18 をご覧ください。

● 接続する機器の説明書もお読みください。
● 別売品の品番は、2012 年 6 月現在の品番です。
● 録音レベルが小さい、または大きすぎる場合は、マイク感度を調整してください。（P36）
● マイク / ライン端子に機器を接続している間は、本機の内蔵マイクは働きません。
● テレホン用マイクなど、接続した外部マイクがモノラルの場合、片チャンネルしか録音されない場合があります。

本機から他機器へダビングする

❶ 本機のインサイドホン端子（∩）と他機器の音声入力（マイク）端子を、オーディオコードで接続する

※推奨品
RP-CA2A：3.5 mm ステレオミニプラグ
　　　　　- 3.5 mm ステレオミニプラグ（抵抗入り）
RP-CA3A：3.5 mm ステレオミニプラグ
　　　　　- 3.5 mm モノラルミニプラグ（抵抗入り）

❷ 他機器の録音を開始する

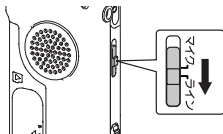
❸ ダビングしたいファイルを本機で再生する

● 接続する機器の説明書もお読みください。
● 別売品の品番は、2012 年 6 月現在の品番です。
● モノラル / ステレオ（接続する機器）に応じた接続コードをお使いください。間違った組み合わせで使用した場合、片チャンネルしか録音されないなど、正常に録音できない場合があります。
● ダビング後の音質は、ダビング前の音質とは異なる場合があります。
● 適切な音量で録音するために、本機で音量を調整してください。
● 本機で FM ラジオを受信している場合は（P24）、FM ラジオを他機器で録音できます。

他機器を接続して本機に録音する

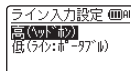
他機器を本機のマイク / ライン端子に接続して、“L”フォルダに録音します。

• IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

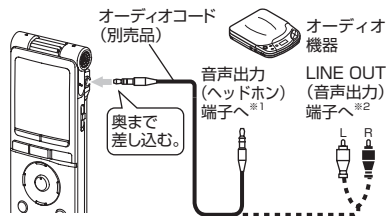
❶ マイク / ライン切り替えスイッチを［ライン］に切り替える

❷ ［メニュー］をポンと押す

❸ ＋、−で“ライン録音設定”を選び、［▶ OK］で決定する

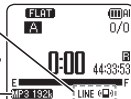
❹ ＋、−で“ライン入力設定”を選び、［▶ OK］で決定する

❺ ＋、−で“高（ヘッドホン）”または“低（ライン：ポータブル）”を選び、［▶ OK］で決定する

“高（ヘッドホン）”：
他機器のヘッドホン端子と接続する場合
“低（ライン：ポータブル）”：
ポータブル機器のライン出力端子と接続する場合
(お買い上げ時は“高（ヘッドホン）”)

❻ ［F2（閉じる)］を押す

❼ 他機器を接続する

推奨品
※1 RP-CAM3G15：3.5 mm ステレオミニプラグ - 3.5 mm ステレオミニプラグ（抵抗なし）
※2 RP-CAPM3G15：3.5 mm ステレオミニプラグ - ピンプラグ× 2（抵抗なし）

他機器と接続し、マイク / ライン切り替えスイッチを［ライン］に切り替えると、選択したライン入力設定とライン録音モード（P47）が表示されます。

応用操作

他機器を接続して本機に録音する（続き）

8 ［録音 ●］を約 1 秒以上押したままにする

録音スタンバイになります。

点滅します。

9 他機器を再生させ、入出力レベルを調整する

①レベルメーターが振り切れて“OVER”が表示される場合は、他機器の音が大きすぎます。音が最も大きくなった場合でも“-6”程度になるまで他機器の音を調整してください。
ライン入力設定をやり直す場合は、［メニュー］を押し、P45 手順 4 ～ 6 を行ってください。

②入出力レベルの調整ができたら、他機器の音源を頭出しして停止させます。

10 ［録音 ●］を押して、録音を開始する

11 他機器を再生する

- 接続する機器の説明書もお読みください。
- 別売品の品番は、2012 年 6 月現在の品番です。(P45)
- 録音中にオーディオコードを抜くと録音が停止します。
- 必要に応じてライン録音モードを変更してください。(P47)
- ライン入力の録音時、L フォルダ以外が選択されている場合は、自動的に L フォルダへ切り替わり保存を開始します。

本機には以下のシンクロ録音機能があります。

曲間などの無音部分を利用して、1 曲目、2 曲目とファイルを分けて録音する機能です。他機器からの音を検知すると自動的に録音を開始し、約 2 秒以上の無音を検知すると録音を一時停止します。再び音を検知すると録音を再開します。

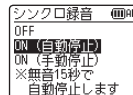
シンクロ録音の設定をする

・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

1 ［メニュー］をポンと押す

2 ＋、－で“ライン録音設定”を選び、［▶ OK］で決定する

3 ＋、－で“シンクロ録音”を選び、［▶ OK］で決定する

4 ＋、－で“ON（自動停止）”、または“ON（手動停止）”を選び、［▶ OK］で決定する

（お買い上げ時は“OFF”）

自動停止：無音を約 2 秒以上検知すると録音を一時停止し、さらに無音が約 15 秒以上続くと停止する

手動停止：無音が続いても［停止 ■/ 戻る］を押すまで録音一時停止（待機）を続ける

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

他機器を接続し、マイク / ライン切り替えスイッチを［ライン］に切り替えると、画面に“SYNC”が表示されます。

● 自動停止は、曲の間に約 2 秒以上の無音がある CD などからライン録音する場合に効果的です。
● 手動停止は、カセットテープの A 面から B 面への切り替えなどで 15 秒以上の無音が発生する場合に効果的です。
● P46 手順 ❽ の録音スタンバイのとき、［メニュー］を押してシンクロ録音の設定ができます。
● 曲の先頭が切れて録音される場合は、シンクロ録音を“OFF”にしてください。
● タイマー予約のライン録音の場合、シンクロ録音はできません。

シンクロ録音する：

・シンクロ録音の設定をしておく。

❶ **P45、46 手順 ❶ ～ ⓫ を行う**

● 他機器のヘッドホン出力端子に接続している場合、シンクロ録音が正しく機能しないことがあります。
● 約 2 秒以上の無音を検出できない場合や、他機器との兼ね合いなどによっては、シンクロ録音ができない場合があります。

ライン録音モードを選択する

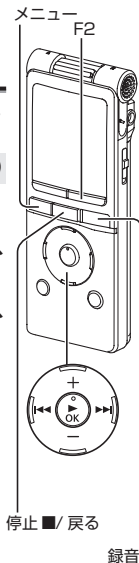
ライン録音時の音質を変更することができます。録音モードについては P35 をご覧ください。

・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

❶ **［メニュー］をポンと押す**

❷ **+、−で“ライン録音設定”を選び、［▶ OK］で決定する**

❸ **+、−で“ライン録音モード”を選び、［▶ OK］で決定する**

❹ **+、−で設定（PCM サンプリング周波数 /MP3 ビットレート）を選び、［▶ OK］で決定する**
（お買い上げ時は“MP3 192kbps”）

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

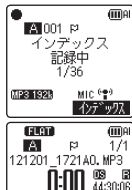
インデックス機能

ファイルにインデックス（ファイル上の位置情報）を付けると、再生時のスキップ操作（P20）でその位置にとび越すことができます。

MUSIC（M）フォルダ、他機器のフォルダ（□）、ゴミ箱（□）フォルダ内のファイルには、インデックスを付けることができません。また、タイマー予約録音・再生中はインデックスを付けることができません。

インデックスを付ける

1 録音中や録音一時停止中、または再生中にインデックスを付けたい位置で［F2（インデックス）］を押す

“⚐”（点滅）と“インデックス記録中”が表示されます。

インデックスを付けたファイルには“⚐”（点灯）が表示されます。

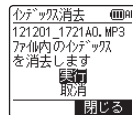
● インデックスは、
- 1 ファイルにつき最大 36 か所付けることができます。
- ファイル消去や分割をすると消去されます。
- 電池残量表示が“□”（点滅）のときは、付けることができません。また、“□”と“□”（点滅）の境目では付けられないことがあります。

● 再生時、インデックスポイントの後ろ約 2 秒未満の位置で ⏮ をポンと押しても、そのポイントには止まりません。

インデックスを消去する

- インデックスを消去したいファイルを選んでおく。(P20)
- IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

1 ［消去 /A-B⟲］を押す

2 +、−で、“インデックス”を選び、［▶ OK］で決定する

3 +、−で“実行”を選び、［▶ OK］で決定する

インデックスが消去されます。

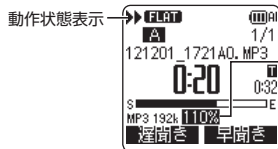
● インデックスを消去しても音声は消去されません。

● 1 つのファイルに複数のインデックスを付けた場合、それらを個別に消去することはできません。

再生速度を変更する

再生速度を遅聞き 0.5 倍速（50%）から早聞き 2 倍速（200%）まで 21 段階で調整できます。

❶ 再生中に［F1（再生速度)］を押す

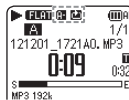
❷［F1（遅聞き)］または［F2（早聞き)］で再生速度を選び、[▶ OK］で決定する

再生速度：
1 倍速（100%）よりも速い場合は 10%ずつ、1 倍速よりも遅い場合は 5%ずつ、再生速度を調整できます。
再生時の動作状態表示：
1 倍速時は“▶”、1 倍速よりも速い場合は“▶▶”、1 倍速よりも遅い場合は“|▶”が表示されます。

- フォルダ頭出し（P59）で再生時や、タイマー予約（P65）再生時は速度を調整できません。
- 再生速度を変更している場合は、ボイス強調（P54）が働きません。

A-B リピート再生

始点（A）と終点（B）を設定すると、その間を繰り返し再生します。

❶ 再生中に［消去 /A-B⟲］を押す

始点（A）が設定され“A- ⟲”と“B”（点滅）が表示されます。

❷ 終点（B）で［消去 /A-B⟲］を押す

“A-B ⟲”（点灯）に変わり、A-B リピート再生が始まります。

A-B リピート再生を解除する：

再生中に［消去 /A-B⟲］か ⏮、⏭、または［停止 ■/ 戻る］を押す。

- 始点（A）と終点（B）の間が約 2 秒以下の場合、A-B リピート設定できません。
- 始点（A）を設定したまま、ファイルが終わりまで再生されると、ファイルの終端を終点（B）として A-B リピートが開始されます。
- ファイルをまたいでの A-B リピートはできません。

位置を指定して再生(時間指定サーチ)

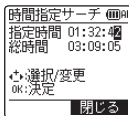
時間指定した位置から再生することができます。

• ICレコーダーモードで停止または再生状態にしておく。(P13)

❶ [メニュー] をポンと押す
再生中の場合は手順 ❸ へ

❷ +、−で"▶再生設定"を選び、
[▶ OK] で決定する

❸ +、−で"時間指定サーチ"を選び、
[▶ OK] で決定する

❹ 再生開始位置を設定する
("指定時間"の数値を変更して開始位置を設定します。)

⏮、⏭ で"00:00:00"(時間 : 分 : 秒)を選び、+、−で数値を変更します。

❺ [▶ OK] を押す
指定した位置から再生されます。

設定画面を途中で閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

● 時間指定サーチは選択中のファイルでのみ行うことができます。

少し戻る再生

再生中に少し戻って聞き直す機能です。語学学習や聞き逃しの場合に便利です。

❶ 再生中に [▶ OK] をポンと押す
ボタンを押すたびに約 3 秒前(お買い上げ時)に戻って再生します。

戻る時間の設定 :

• ICレコーダーモードで停止または再生状態にしておく。(P13)

❶ [メニュー] をポンと押す
再生中の場合は手順 ❸ へ

❷ +、−で"▶再生設定"を選び、
[▶ OK] で決定する

❸ +、−で"少し戻る再生"を選び、
[▶ OK] で決定する

❹ +、−で戻る秒数(1 〜 5 秒)を選び、[▶ OK] で決定する
(お買い上げ時は"3 秒")

設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

繰り返し再生（リピート設定）

• IC レコーダーモードで停止または再生状態にしておく。(P13)

❶［メニュー］をポンと押す
再生中の場合は手順 ❸ へ

❷ ＋、－で“▶再生設定”を選び、［▶ OK］で決定する

❸ ＋、－で“リピート設定”を選び、［▶ OK］で決定する

❹ ＋、－でリピート再生の種類を選び、［▶ OK］で決定する
（お買い上げ時は“OFF”）

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

“1”：“1 曲”
“フォルダ”：“フォルダ”
“フォルダランダム”：“フォルダ内ランダム”
“ALL”：“全曲”
“ALLランダム”：“全曲ランダム”
“OFF”は何も表示されません。

リピートモード設定表示

OFF	1 つのフォルダ内の選択したファイルから最終ファイルまでを続けて再生して停止します。
1 曲	1 つのファイルを繰り返して再生します。
フォルダ	1 つのフォルダ内の全ファイルを繰り返して再生します。
フォルダ内ランダム	1 つのフォルダ内のファイルを順不同で繰り返して再生します。
全曲	MUSIC（M）フォルダ、または他機器のフォルダ（□）の場合、フォルダ内の全ファイル※ を繰り返して再生します。それ以外のフォルダの場合、“フォルダ”と同じ動作になります。
全曲ランダム	MUSIC（M）フォルダ、または他機器のフォルダ（□）の場合、フォルダ内の全ファイル※ を順不同で繰り返して再生します。それ以外のフォルダの場合、“フォルダ内ランダム”と同じ動作になります。

※ 認識するファイル数は最大 3,000 ファイルです。

● リピート設定で“フォルダ内ランダム、全曲ランダム”を選択している場合、再生中は前のファイルにはスキップできません。

一定の間隔でスキップする（タイムスキップ）

再生時のスキップ操作（P20）で、設定された時間をとび越す機能です。
短いフレーズを繰り返したり、再生位置をすばやく移動させたりするときに便利です。

タイムスキップを行う

❶ 再生中に［▶ OK］を約 1 秒以上押したままにする

タイムスキップモードに切り替わり“TS”が表示されます。

ボタンを押すたびにスキップモードが切り替わります。

ファイルスキップモードの場合は、通常のスキップ動作になります。（P20）

❷ ⏮、⏭ をポンと押す

ボタンを押すたびに 5 秒間隔（お買い上げ時）でスキップします。
再生を停止するとファイルスキップモードに戻ります。

スキップ間隔を変更する

• IC レコーダーモードで停止または再生状態にしておく。（P13）

❶［メニュー］をポンと押す

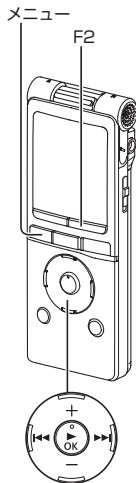
再生中の場合は手順 ❸ へ

❷ ＋、－で“▶再生設定”を選び、［▶ OK］で決定する

❸ ＋、－で“タイムスキップ”を選び、［▶ OK］で決定する

❹ ＋、－で時間を選び、［▶ OK］で決定する

スキップ間隔は、5 秒、10 秒、30 秒、1 分、5 分、10 分、15 分から選択できます。
（お買い上げ時は“5 秒”）

設定画面を閉じるには［F2（閉じる）］を押す。

● 設定したスキップ間隔より近い位置に、ファイルの先頭やインデックスポイントがある場合は、その位置にスキップします。

シャドーイング再生

シャドーイングとは、音声を聞きながら、聞こえた音をほぼ同時に繰り返して言う学習方法です。本機のシャドーイング機能を使うと、A-B リピート区間を通常音量と無音または小音量で、交互に繰り返し再生します。語学学習などに便利です。

シャドーイング再生の設定：

・IC レコーダーモードで停止または再生状態にしておく。(P13)

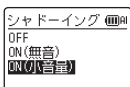
❶ ［メニュー］をポンと押す

再生中の場合は手順 ❸ へ

❷ ＋、－で"▶再生設定"を選び、［▶ OK］で決定する

❸ ＋、－で"シャドーイング"を選び、［▶ OK］で決定する

❹ ＋、－でシャドーイング再生の設定を選び、［▶ OK］で決定する

"ON（小音量）"を選ぶと通常音量の約 3 分の 1 の音量で再生します。
（お買い上げ時は"OFF"）

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

シャドーイング再生のしかた：

❶ A-B リピート再生を行う（P49）

A-B リピート区間を通常音量と無音または小音量で、交互に繰り返し再生します。

シャドーイング再生の音量調整：

通常音量と小音量時の音量は、別々に調整することができます。

・A-B リピート再生を解除したり、再生中にシャドーイング再生の設定を切り替えると小音量時は通常音量の約 3 分の 1 の音量で再生します。

音声を聞き取りやすくする（ボイス強調）

再生音のノイズを軽減する（ノイズキャンセル再生機能）ことや、ステレオ音声の場合は前方や左右の音を部分的に強調する（フォーカス再生機能）ことで目的の音を聞き取りやすくします。

- ICレコーダーモードで停止または再生状態にしておく。(P13)

❶ **[メニュー] をポンと押す**
再生中の場合は手順 ❸ へ

❷ **+、−で“▶再生設定”を選び、[▶ OK] で決定する**

❸ **+、−で“ボイス強調”を選び、[▶ OK] で決定する**

❹ **+、−でボイス強調の設定を選び、[▶ OK] で決定する**
（お買い上げ時は“ノーマル”）

ノーマル	録音されたままの音で再生します。
ノイズキャンセル弱	弱めにノイズを軽減します。
ノイズキャンセル強	強めにノイズを軽減します。
フォーカス前方	前方の音を強調します。
フォーカス左	左側の音を強調します。
フォーカス右	右側の音を強調します。

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

“NC”：“ノイズキャンセル弱”、
“ノイズキャンセル強”
“FP”：“フォーカス前方”、
“フォーカス左”、
“フォーカス右”
“ノーマル”は何も表示されません。

再生中にのみ設定したボイス強調が表示されます。

- 音源によっては十分な効果が得られない場合があります。
- 以下の場合はボイス強調が働きません。
  - 早聞き / 遅聞き再生中（P49）
  - WMA ファイル再生中
  - サンプリング周波数が 16 kHz 未満のファイル再生中
  - ズーム録音した音声やモノラル音声のファイル再生で“フォーカス前方 / フォーカス左 / フォーカス右”を選択

再生 EQ を設定する（サウンド EQ）

サウンド EQ を使うと、低 / 中 / 高音域の音量レベルを好みに応じた設定にして再生できます。
サウンド EQ には、6 種類の固定モードと周波数帯別に音量レベルが設定できる「USER」モードがあります。

サウンド EQ は､ステレオインサイドホンで聞いているときのみ有効となります｡

- IC レコーダーモードで停止または再生状態にしておく｡(P13)

❶ ［メニュー］をポンと押す

再生中の場合は手順 ❸ へ

❷ ＋、－で“▶再生設定”を選び、［▶ OK］で決定する

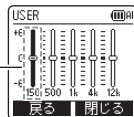
❸ ＋、－で“サウンド EQ”を選び、［▶ OK］で決定する

❹ ＋、－でサウンド EQ モードを選ぶ

“USER”以外を選んだ場合は手順 ❺ へ進む

“USER”を選んだ場合の設定：

①手順 ❹ のあと、［F1（編集)］を押す

150 Hz 帯が選択されます。

②⏮、⏭ で変更したい周波数帯を選び、＋、－で音量レベル（± 6 dB）を調整する

③変更したい周波数帯の設定がすべて完了したら、手順 ❺ へ進む

❺ ［▶ OK］で決定する

設定画面を閉じるには［F2（閉じる)］を押す。

設定したサウンド EQ モードが表示されます。

EQ モード	効果と用途
FLAT	サウンド EQ 機能を使わず、原音のまま再生します。
BASS	低音域を強調します。
CLEAR	高音域をより強調します。
HEAVY	低音域と高音域をやや強調します。
SOFT	中音域を強調します。
VOICE	雑音を軽減し人の声を聞きやすくします。
USER	150 Hz、500 Hz、1 kHz、4 kHz、12 kHz の周波数帯の調整ができます。

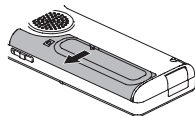
（お買い上げ時は“FLAT”）

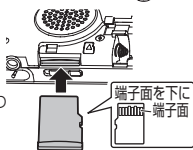
● 手順 ❹ の画面で［F1（確認)］を押すと詳細を確認できます。もう一度［F1（戻る)］を押すと元の画面に戻ります。

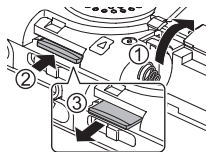
SD カードを使用する

本機は、内蔵メモリーのほかに microSD/microSDHC カードを使用することができます。
新しい SD カードは本機でフォーマット（P70）してからお使いください。

SD カードを入れる

❶ 電源を切り、電池 /SD カード挿入部ふたを開ける

❷ SD カードを入れ、電池 /SD カード挿入部ふたを閉じる

SD カードの向き（▲）を合わせて「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。

SD カードを取り出すときは：

①本機の電源を切り、電池 / SD カード挿入部ふたを開けます。
②SD カードを軽く押してください。
③SD カードが少し出てくるので、ゆっくりと引き抜いてください。

- 停止中の画面で［F2（フォルダ)］を約 1 秒以上押したままにすると、内蔵メモリーと SD カードを切り替えることができます。
- 本機は、2 GB の microSD カード、および 4 GB ～ 32 GB の microSDHC カードに対応しています。（2012 年 6 月現在）
- SD カードの製造メーカーや種類によっては本機で正しく動作しないものもあります。
- 当社基準において動作確認済みの SD カードについては、当社サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/
- SD カードを入れているのにフォルダ選択画面などで“microSD”が表示されない場合は、本機が SD カードを認識していません。電源を切り、SD カードを入れ直してください。

ファイル検索機能を使う

ファイル検索機能を使って、本機で録音したファイルを探すことができます。
MUSIC（M）フォルダ、他機器のフォルダ（[…]）内のファイルは検索できません。

■ファイル検索の種類

カレンダー検索	録音ファイルを日付で絞り込んでリスト表示します。
曜日検索	録音ファイルを曜日で絞り込んでリスト表示します。
放送局検索	ラジオ録音ファイルを録音元の放送局別にリスト表示します。
最近録音ファイル	録音ファイルを日付の新しい順にリスト表示します。（20 件）

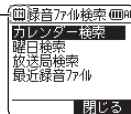
ファイル検索を行う

・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

❶ **［リスト⚲］を約 1 秒以上押したままにする**
SD カード(P56)を挿入している場合は手順 ❷ へ、挿入していない場合は手順 ❸ へ進む

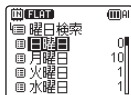
❷ **＋、－で“内蔵メモリー”または“microSD カード”を選び、［F1（ファイル検索）］を押す**

❸ **＋、－で検索の種類を選び、［▶ OK］で決定する**

検索対象となる“[IN]”（内蔵メモリー）または“[SD]”（SD カード）が表示されます。

“カレンダー検索”を選んだ場合：

＋、－、⏮、⏭で録音した日を選び、［▶ OK］で決定する
録音したファイルがある日付にのみカーソルが移動します。

“曜日検索”を選んだ場合：

＋、－で曜日を選び、［▶ OK］で決定する
曜日は 1 つだけ選択できます。

“放送局検索”を選んだ場合：

＋、－で放送局または周波数を選び、［▶ OK］で決定する

❹ **＋、－でファイルを選び、［▶ OK］で決定する**

応用操作

本機で音楽を聴く（WMA/MP3 音楽ファイル）

・パソコンから本機に音楽ファイルを転送しておく。（P78）

MUSIC（M）フォルダからファイルを選ぶ：

フォルダ選択の方法は P15、ファイルやサブフォルダの選択の方法については、P16、20 をご覧ください。

❶ ファイルを選び、[▶OK] をポンと押す

ファイルに楽曲情報（ID3 タグなど）がある場合は、① タイトル ② アーティスト名 ③ アルバム名が表示されます。（タイトルがない場合はファイル名が表示され、アーティスト名やアルバム名がない場合は“アーティスト情報なし”、“アルバム情報なし”と表示されます。）

再生操作については、P20 をご覧ください。

● WMA/MP3 ファイルと本機で録音した PCM（WAV）ファイルのみ再生できます。

● MUSIC フォルダでは、1つのフォルダにつき 199 ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダを作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が減ります。（本機のフォルダ構造について：P76）

● 著作権保護された WMA/MP3 音楽ファイルは再生できません。

● 可変ビットレートの WMA/MP3 音楽ファイルも再生できる場合がありますが、再生経過時間やビットレートの表示が実際と異なったり、A-B リピートの際にリピート位置が設定位置と異なることがあります。

● ファイルの楽曲情報（ID3 タグなど）に本機で読み取れないデータがあると、曲名やアーティスト名などが正しく表示されないことがあります。

● ファイルサイズが 2 GB を超えるファイルは再生できません。

● 再生時間が 100 時間を超えるファイルの再生経過時間が 100 時間以上になると、“時間 : 分 : 秒”の“時間”部分が点滅します。

・ID3 タグ： MP3 ファイルに格納される曲名などの情報
・MP3：MPEG Layer-3 オーディオの略称で、音声圧縮規格の一種
・WMA：Windows Media Audio の略称で、音声圧縮規格の一種
・可変ビットレート：音声圧縮時にビットレートを可変させる方式

フォルダ頭出し機能

MUSIC（M）フォルダ内のファイル再生中に MUSIC フォルダ内のサブフォルダを簡単に切り替えることができます。PLAYLIST 再生中は、フォルダ頭出しはできません。

1 再生中に［F2（ 頭出し)］を押す

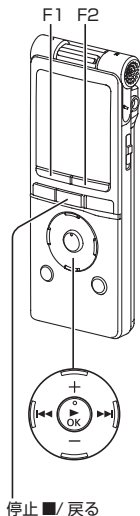
“フォルダ頭出し”が表示され、フォルダ頭出し表示“ ”に変わります。

2 “ ”表示中に、、 を押す

- 前、または次のフォルダの 1 曲目を頭出しします。
- フォルダ頭出し表示中は、再生スピード変更や早送り / 早戻しができません。また、［メニュー］や［リスト］は働きません。

フォルダ頭出しを解除する：

下記のいずれかの方法で、設定を解除することができます。解除すると 、 でファイルのスキップができるようになります。

- もう一度、［F2（ 頭出し)］を押す
- ［▶ OK］を押す
- ［停止 ■/ 戻る］を押す（再生が終了します。）

プレイリスト機能を使う

MUSIC（M）フォルダ内の曲をプレイリストに登録し、お好みの順番で再生することができます。

プレイリストにお気に入りの曲を登録する

1 リスト画面で“MUSIC(M)”フォルダを選ぶ(P16)

“他機器のフォルダ（ ）”を選ぶこともできます。

2 ＋、－で登録したいファイルまたはフォルダを選び、［F1（プレイリスト）］で決定する

フォルダを選ぶ、またはフォルダを切り替えてファイルを選ぶ場合は、 を押すとフォルダ階層を移動できます。（ファイル、フォルダの選択方法の詳細は P16）

3 、 でプレイリストを選び、［▶ OK］で決定する(PLAYLIST1 ～ 5 から選びます)

選択したプレイリストにファイル、またはフォルダ内の全ファイルが登録されます

- プレイリストファイルは、“MUSIC”フォルダ内の“PLAYLIST”フォルダの中にあり“PLAYLIST1.M3U ～ PLAYLIST5.M3U”と表示されます。
- PLAYLIST1 ～ 5.M3U はパソコンで編集しないでください。
- 1 つのプレイリストにつき、99 ファイルの登録が可能です。

プレイリストに登録した曲を再生する

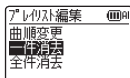
1. プレイリスト（“P1” ～ “P5”）を選ぶ（P15）
2. ⏮、⏭ で再生したいファイルを選び、[▶ OK] をポンと押す

プレイリストの曲順を変更する

1. リスト画面でプレイリスト（“P1” ～ “P5”）を選ぶ（P16）
2. +、−で変更したいファイルを選び、[F1（編集）] を押す

3. +、−で“曲順変更”選び、[▶ OK] で決定する
   選んだファイル名の左に“➡”が付きます。
4. +、−で“➡”が付いているファイルを好みの位置に移動し、[▶ OK] で決定する
   曲順が変更されます。

プレイリストに登録した曲を解除する

1. リスト画面でプレイリスト（“P1” ～ “P5”）を選ぶ（P16）
2. +、−で消去したいファイルを選び、[F1（編集）] を押す
3. +、−で“一件消去”を選び、[▶ OK] で決定する

   登録されている曲をすべて解除する場合：
   +、−で“全件消去”を選び、[▶ OK] で決定する
4. +、−で“実行”を選び、[▶ OK] で決定する

- プレイリストに登録したファイルを解除しても、登録元のファイルは消去されません。
- 登録元のファイルが消去されている場合、再生経過時間と総再生時間の表示が“-:--”となります。そのファイルを再生すると、約 2 秒で次のファイルにスキップします。
- 登録元のファイルを消去した場合は、プレイリストに登録したファイルも解除してください。

ファイル編集

編集設定を使って、本機で録音したファイルをいろいろな方法で編集することができます。

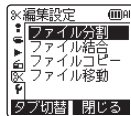
編集設定の設定方法

・IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

❶ ［メニュー］をポンと押す

❷ +、−で“✂編集設定”を選び、［▶ OK］を押す

❸ +、−で編集する項目を選び、［▶ OK］を押す

［F1（タブ切替）］を押すと他の設定画面に切り替わります。

・設定内容、変更方法については各項目で異なります。
ファイル分割（右記）
ファイル結合（P62）
ファイルコピー（P63）
ファイル移動（P63）

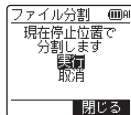
設定画面を閉じるには［F2（閉じる）］を押す。

ファイルを分割する

1 つのファイルを指定した位置で 2 つに分割できます。

❶ 再生中にファイルを分割したい位置で［停止 ■/ 戻る］を押す

❷ 左記「編集設定の設定方法」手順 ❸ で“ファイル分割”を選ぶ

❸ +、−で“実行”を選び、［▶ OK］で決定する

分割中は動作表示ランプが点滅します。

● MUSIC（M）フォルダや他機器のフォルダ（▭）、ゴミ箱（🗑）フォルダ内のファイルは、分割できません。
● ファイルを分割するには、約2秒以上のファイル長さが必要です。
● ファイルの先頭ではファイルの分割ができません。
● 分割したファイルを元に戻すことはできません。あらかじめ、ファイルをコピーしてバックアップしておくことをおすすめします。
● ファイル分割が完了するとフォルダ内のファイルが 1 つ増えます。(P75)
● インデックスを付けたファイルを分割すると、インデックスは消去されます。(P48)
● 内蔵メモリーや SD カードの空き容量がない場合や、すでに 199 ファイル録音されているフォルダでは、ファイル分割できません。

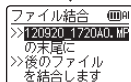
ファイルを結合する

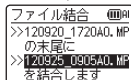
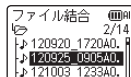
本機で録音した2つのファイルを1つのファイルに結合することができます。

❶ P61「編集設定の設定方法」手順 ❸ で“ファイル結合”を選ぶ

❷ ＋、－で“前のファイル”を選び、[▶ OK］で決定する

❸ ＋、－で結合元のファイルを選び、[▶ OK］で決定する

フォルダを切り替えてファイルを選ぶ場合は、⏮ を押すとフォルダ階層を移動できます。（ファイル、フォルダの選択方法の詳細はP16）

❹ ＋、－で“後のファイル”を選び、[▶ OK］で決定する

❺ ＋、－で後ろに結合するファイルを選び、[▶ OK］で決定する

❻ ＋、－で“次へ”を選び、[▶ OK］で決定する

❼ ＋、－で“実行”を選び、[▶ OK］で決定する

結合中は動作表示ランプが点滅します。

・結合完了までに [F2（キャンセル）] を押すと、結合を取り止めます。

● 結合したファイルは元に戻せません。あらかじめ、ファイルをコピーしてバックアップしておくことをおすすめします。
● インデックスを付けたファイルを結合すると、インデックスは消去されます。
● 結合したファイルは、“前のファイル”が保存されていたフォルダに保存されます。

以下の場合は、結合できません。

● MUSIC（M）フォルダや他機器のフォルダ（[他機器フォルダ]）、ゴミ箱 ([ゴミ箱]) フォルダ内のファイル
● 電池残量表示が、“[電池空]”（点滅）または“[電池残量少]”の場合
● 内蔵メモリーのファイルと SD カードのファイル結合
● 結合後のファイルサイズが合計 2 GB 以上になる場合
● “後のファイル”のサイズ分以上の空き容量がない場合
● 録音元の放送局が異なるラジオ録音ファイルの場合
● 2 つのファイルの録音モード（ビットレート）やサンプリング周波数※（P92）が異なる場合

※ 録音するラジオ放送局によって録音モードが同じでも、サンプリング周波数が異なる場合があります。ファイルのサンプリング周波数は本機では表示されません。パソコンなどでファイル情報を見ると確認できます。

ファイルをコピー / 移動する

内蔵メモリーと SD カードとの間で録音ファイルのコピーや移動ができます。
マイク録音ファイルは、A、B、C、D フォルダ間でのコピーや移動もできます。

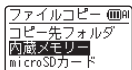
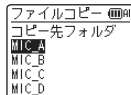
ファイルをコピーする

❶ P61「編集設定の設定方法」手順 ❸ で“ファイルコピー”を選ぶ

❷ +、−でコピーするファイルを選び、[▶ OK] で決定する

フォルダを切り替えてファイルを選ぶ場合は、⏮ を押すとフォルダ階層を移動できます。（ファイル、フォルダの選択方法の詳細は P16）

- FM（FM_SD）や LINE（LINE_SD）フォルダ内のファイルをコピーするときは手順 ❺ へ進む

❸ +、−でコピー先（“内蔵メモリー”または“microSD カード”）を選び、[▶ OK] で決定する

❹ +、−でコピー先のフォルダを選び、[▶ OK] で決定する

❺ +、−で“実行”を選び、[▶ OK] で決定する

コピー中は動作表示ランプが点滅します。

ファイルを移動する

ファイルの移動は、手順 ❶ で“ファイル移動”を選びます。
操作については、ファイルのコピーと同じです。

応用操作

- コピー（移動）完了までに [F2（キャンセル）] を押すと、コピー（移動）を取り止めることができます。
- MUSIC（M）フォルダや他機器のフォルダ（📁）、ゴミ箱（🗑）フォルダ内のファイルは、コピー（移動）できません。
- 電池残量表示が、“▭”（点滅）または“▭”の場合は、コピー（移動）できません。
- コピー（移動）先に、コピー（移動）するファイル以上の空き容量がない場合は、コピー（移動）できません。（同じメモリーへの移動を除く）

ゴミ箱機能

ゴミ箱機能 ON の状態でファイルを消去すると、ファイルはゴミ箱（🗑）フォルダに移動します（MUSIC（M）フォルダ、および他機器のフォルダ（▣）を除く）。ゴミ箱フォルダのファイルは元のフォルダに戻すことができるため、間違って消去した場合でも安心です。ゴミ箱機能を OFF にしてファイルを消去すると、ゴミ箱フォルダに移動せず完全に消去されます。（お買い上げ時：ON）

ゴミ箱フォルダのファイルを元のフォルダに戻す

• IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

1 ［F2（フォルダ）］をポンと押す

2 +、−、⏮、⏭ で“🗑”を選び、［▶ OK］で決定する

ゴミ箱フォルダは、内蔵メモリーと SD カードのそれぞれにあります。

3 ⏮、⏭ で元に戻したいファイルを選び、［消去 /A-B⟲］で決定する

消去前に保存されていたフォルダ
消去前のファイル番号

4 +、−で“1 件戻す”を選び、［▶ OK］で決定する

5 +、−で“実行”を選び、［▶ OK］で決定する

動作表示ランプが点滅し、選択したファイルが元のフォルダの末尾に戻ります。
［▶ OK］を押すと、手順 3 の画面に戻ります。

● “＊がいっぱいです ファイルを戻せません”と表示された場合は、＊フォルダが録音可能ファイル数（199）に達しています。そのフォルダ内のファイルを消去し、もう一度最初から操作してください。

ゴミ箱フォルダを空にする

ゴミ箱フォルダを空にすると、ゴミ箱内のファイルは完全に消去されます。必要なデータは、ゴミ箱フォルダを空にする前にパソコンや外部機器などに保存してください。

• IC レコーダーモードで停止状態にしておく。(P13)

1 ［消去 /A-B⟲］を押す

2 +、−で“ゴミ箱を空にする”を選び、［▶ OK］で決定する

ゴミ箱フォルダ選択時は、手順 2 で“空にする”を選び、［▶ OK］で決定する。

3 +、−で“実行”を選び、［▶ OK］で決定する

動作表示ランプが点滅し、ゴミ箱フォルダが空になります。

● ゴミ箱機能が ON のときは、ファイルを消去しても録音残り時間（空き容量）は増えません。録音残り時間を増やすためには、ゴミ箱（🗑）フォルダを空にして、完全に消去してください。

タイマーを使う

設定した日時に録音を実行できます。またファイルを再生したり音を鳴らしてアラームとして使うこともできます。あらかじめ、時計を正しく設定しておいてください。(P14)

メニュー
F2
消去 /A-B
停止 ■/ 戻る

• [停止 ■/ 戻る] を押して、停止状態にしておく。

❶ **[メニュー] をポンと押す**

❷ **+、−で "共通設定" を選び、[▶ OK] で決定する**

❸ **+、−で "タイマー設定" を選び、[▶ OK] で決定する**

❹ **日時、音源などの項目を設定する**

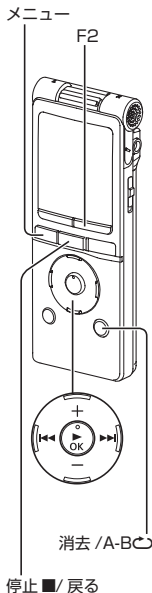
項目の詳細についてはP66 をご覧ください。

①+、−で項目を選び、[▶ OK] で決定する。
②+、−、|◀◀、▶▶| で設定を選び、[▶ OK] で決定する。
①、②を繰り返して設定します。

❺ **+、−で "設定完了" を選び、[▶ OK] で決定する**

設定画面を閉じるには [F2 (閉じる)] を押す。

● 必ず手順 ❺ の "設定完了" の操作を行ってください。この操作を行わないと、タイマーが正しく動作しません。途中で [F2 (閉じる)] などを押すと "設定した内容で登録しますか ?" と表示される場合がありますので、"はい" または "いいえ" を選び、[▶ OK] で決定してください。

● タイマー予約実行時の音量は、タイマー予約設定時の音量となります。あらかじめ適切な音量に設定してから予約設定を行ってください。

設定項目	内容
設定	**OFF：**タイマー動作しません。 **ON：**タイマーを動作させます。
繰返し	**1 回：**1 回だけ、録音または再生します。 **毎日：**毎日、録音または再生します。 **曜日指定：**選択した曜日に毎回、録音または再生します。 ① +、−で曜日を選び、[▶ OK] で□にチェックマークを入れる。（もう一度 [▶ OK] を押すと選択解除します。） ②曜日を選び終わったら“確定”を選び、[▶ OK] を押す。
時刻※1	**開始時刻と終了時刻の設定** ⏮、⏭ で項目（開始時、分、終了時、分）を選び、 +、−で設定する。 ・開始時刻から終了時刻までの設定可能時間は 12 時間です。
動作	**再生：**設定した音源(またはアラーム音)を再生します。 **録音：**設定した音源を録音します。
再生元※2	**アラーム：**アラーム音を鳴らします。 **ファイル再生：**ファイルを再生します。 選択中のフォルダのファイルリストが表示されます。 ＋、－でファイルを選び ［▶ OK］を押す。 フォルダを切り替えてファイルを選ぶ場合は、⏮ を押すとフォルダ階層を移動できます。 （ファイル、フォルダの選択方法の詳細は P16） **FM**※5：FM ラジオを受信します。

設定項目	内容
録音元※3	**MIC：**マイク録音します。 **LINE：**外部機器の音を録音します。 **FM**※5**：**FM ラジオを録音します。
音質※3	PCM：44.1kHz MP3：320kbps、192kbps、128kbps、64kbps、32kbps
録音先※3	録音したファイルを保存するフォルダを選びます。 ・SD カードのフォルダを選んだときは、SD カードを入れてください。
出力※4	**OFF：**タイマー録音中に音声出力しません。 **ON：**タイマー録音中に音声出力します。

※1 開始時刻や終了時刻を設定する場合、AM（午前）と PM（午後）を間違えないようにしてください。
AM12:00 は午前 0:00、PM12:00 は正午です。
夜の 12 時にタイマー録音をする場合、開始時刻は「AM12:00」に設定してください。

※2 “動作”で“再生”を選んだ場合に表示されます。

※3 “動作”で“録音”を選んだ場合に表示されます。
“録音元”が“FM”の場合、“音質”は表示されません。
「MP3 128kbps」固定になります。

※4 “録音元”で“FM”を選んだ場合に表示されます。

※5 “FM”を選んだ場合
① +、−でチャンネルまたは、周波数を選び、[▶OK] を押す。
② +、−で受信したい放送局のチャンネル (CH) または周波数 (MHz) を選び、[▶OK] を押す。

■タイマーの予約状態や実行状況を確認するには

タイマー表示

- ：タイマー予約が設定されています。
  タイマー実行中は表示が点滅します。
- ：繰り返し設定が“1 回”のときに、タイマー録音に失敗すると表示されます。表示を消すには、設定を“OFF”にするか､再度タイマーを設定してください。
- ：繰り返し設定が“毎日”または“曜日指定”のときに、タイマー録音に失敗すると表示されます。次回のタイマーが正常に動作すると､“ ”の表示に戻ります。

● 予約時刻に電源を切っていた場合は電源が入って予約を実行し※、終了時刻に電源が切れます。

※ 動作設定が“再生”の場合、少し遅れて FM ラジオの受信またはファイルの再生を開始します。

● タイマー予約実行時は､以下のボタン操作ができます。ホールド中の場合は、ホールドを解除してから操作してください。

・[停止 ■/ 戻る]、電源 / ホールドスイッチ、
＋ / －（音量）

・|◀◀、▶▶|（録音レベル、または VOS 値調整）

● タイマー再生で再生するファイルを設定後、そのファイルを消去すると、タイマー開始時刻にアラーム音が鳴ります。

● アラーム音を止めるには、本機のいずれかのボタンを押してください。ホールド中でも止めることができます。

● タイマー再生で予約開始から終了までの時間より短い時間のファイルが指定されている場合、選んだファイルを繰り返し終了時刻まで再生します。

● 再生元をファイル再生に設定した場合、タイマー再生時の再生設定（サウンド EQ（P55）など）は、タイマー再生実行時点の設定で再生されます。

● 録音元を MIC や LINE に設定した場合、タイマー録音時の録音設定（マイク感度 (P36) やライン入力設定 (P45) など）はタイマー録音実行時点の設定で録音されます。（録音モード (P35) を除く）

● 時計設定がお買い上げ時の設定に戻った場合、タイマーの実行設定は自動的に OFF になります。

● タイマー録音開始時刻の 1 分前になると、録音ランプが点滅し、録音待機状態になります。

録音、再生に共通する本機の設定を行います。

共通設定の設定方法

・[停止 ■/ 戻る]を押して、停止状態にしておく。

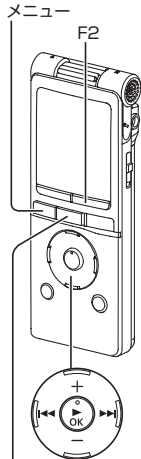
❶ [メニュー] をポンと押す

❷ +、−で"共通設定"を選び、[▶ OK] で決定する

❸ +、−で設定項目を選び、[▶ OK] で決定する

❹ +、−で設定を変更し、[▶ OK] で決定する

設定画面を閉じるには [F2(閉じる)] を押す。

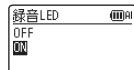
"時計設定"(P14)、"タイマー設定"(P65)についてはそれぞれのページをご覧ください。

操作音設定(音声ガイド)

ボタン操作時の操作音を設定します。

OFF:操作音を鳴らさない　ON:操作音を鳴らす
音声ガイド:操作音と音声ガイドを鳴らす
(お買い上げ時は"音声ガイド")

● "ON"または"音声ガイド"を選択した場合は、+、−で音量を選び、[▶ OK] で決定します。
(お買い上げ時は"音量中")

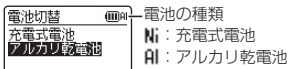
録音 LED(録音ランプ)

録音時、録音ランプを点灯させるかどうかを設定します。

OFF:点灯させない　ON:点灯させる
(お買い上げ時は"ON")

● 録音 LED を OFF に設定しても、充電中やファイル編集時などの動作表示ランプとしては点灯(点滅)します。

電池切替

使用する電池の種類（アルカリ乾電池、またはニッケル水素充電式電池）を設定します。

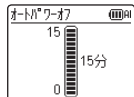
電池の種類
Ni：充電式電池
Al：アルカリ乾電池

電池の種類：充電式電池、アルカリ乾電池

RR-XS450（お買い上げ時は“アルカリ乾電池”）

RR-XS500 **RR-XS700**（お買い上げ時は”充電式電池”）

- 電池切替を“充電式電池”に設定しないと充電できません。
- 設定と異なる種類の電池を使用すると、電池残量などが正しく表示されません。

オートパワーオフ

停止状態で一定時間何の操作もしなかった場合、自動的に電源が切れる機能です。電源を切り忘れても自動で電源が切れるので、余分な電池の消耗を防ぎます。

オートパワーオフ：0 分（OFF）～ 15 分
（お買い上げ時は“15 分”）

- 1 分単位で設定できます。
- OFF に設定するとオートパワーオフ機能は働きません。

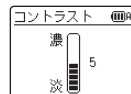
バックライト

ボタンを押したときのバックライトの点灯時間を設定します。

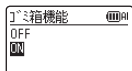
点灯時間：OFF（点灯しない）、5 秒、15 秒、常時 ON
（お買い上げ時は“15 秒”）

- 電池残量が少ないと、バックライトが点灯しない場合があります。
- 以下の場合はバックライトが点灯しません。
  - ・FM ラジオ録音中
  - ・ファイル移動、コピー、結合を実行中

コントラスト

画面のコントラストを調整します。
調整は 10 段階で設定できます。

表示調整：1（淡）～ 10（濃）
（お買い上げ時は“5”）

ゴミ箱機能

ゴミ箱機能を使うと、消去したファイルはゴミ箱に移動されます。ゴミ箱を空にするまでは、消去したファイルを元に戻すことができるので、誤って消去した場合にも安心です。

OFF：ゴミ箱機能を使わない
ON：ゴミ箱機能を使う
（お買い上げ時は“ON”）

- ゴミ箱機能が“OFF”のときは、一度消去したファイルを元に戻すことはできません。

設定初期化

本機の設定を初期化すると、設定（時計設定を除く）はお買い上げ時の状態に戻ります。
“実行”を選んで、[▶OK] で決定すると実行します。

フォーマット

内蔵メモリー、または SD カード内の全ファイルを完全に消去します。消去したファイルは元に戻すことができません。

① “内蔵メモリー”または“microSD カード”を選び、[▶ OK] で決定する。

フォーマット
内蔵メモリー
microSDカード

② “実行”を選び、[▶ OK] で決定する。

- フォーマットの前に、必要なファイルはパソコンや外部機器に保存してください。
- フォーマットするとゴミ箱内のファイルも削除され、元に戻すことはできません。
- フォーマット中は、取り消しができません。
- フォーマット中は、電池や SD カードを抜かないでください。
- 新しい SD カードは、まず本機でフォーマットしてからお使いください。

バージョン

本機のファームウェアのバージョンを確認することができます。

本機をパソコンに接続する

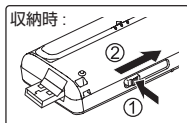
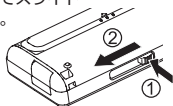
本機で録音した録音ファイルをパソコンに取り込めます。
動作環境の詳細については、P79 をご覧ください。

- パソコンを起動させておく。
- 本機の電源を切っておく。

❶ 本機の USB 端子を出す

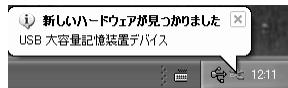
押しながらカチッと音がするまでスライドさせる。

収納時 :

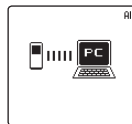
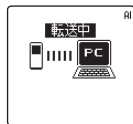
②
①

❷ 本機をパソコンの USB ポートに接続する

USB 端子の向きを合わせてまっすぐ挿入する。

USB 端子を奥までしっかりと挿入する。（USB カバーは本機内部に収納され、挿入の邪魔にはなりません。）

● 初めて接続した場合、パソコンに図のようなメッセージが複数回表示されるので、メッセージが消えるまでは本機を取り外さないでください。表示は Windows XP（OS）の場合です。

● パソコンに接続中の画面の表示

接続時

通信時

● パソコン接続中は、本機の操作はできません。
● 本機とパソコンを直接接続できない場合は、別売のUSB 延長ケーブル（RP-CUMB20）をご使用ください。
● 本機に電池がなくても、パソコンに接続できます。
● 本機とパソコンを接続していると、パソコンが起動（再起動）しない場合があります。パソコンを起動（再起動）するときは、本機の USB 端子を抜いておくことをおすすめします。
● 次の場合は、動作を保証しません。
  ・1 台のパソコンに 2 台以上の USB 機器を接続している場合（正しく動作しているマウス・キーボードは除く）
  ・USB ハブを使用している場合
  ・別売の RP-CUMB20 以外の USB 延長ケーブルを使用している場合
● 本機とパソコンを接続中にパソコンを起動（再起動）したり、パソコンが省電力モードになると、パソコンが本機を認識しないことがあります。本機を取り外して再接続するか、パソコンを再起動してから本機を接続し直してください。
● パソコンの取り扱い方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

■本機を取り外す

パソコンの画面下のタスクトレイにあるアイコン（Windows XP: [ ]、Windows Vista/Windows 7: [ ]）をダブルクリックし、画面の指示に従って取り外してください。（OSの設定によっては表示されません。）
取り外したあとは、本機の電源が切れます。
本機のファイルをパソコンで削除などしたあと、本機の電源を入れると“ファイル名を更新しています”と表示されます。更新の完了までに数分かかる場合があります。

■USB マスストレージ機能

本機は USB メモリーとしても機能し、パソコンの外部記憶装置として認識されます。
パソコン内のデータファイルを本機内に転送 / 保存することができます。

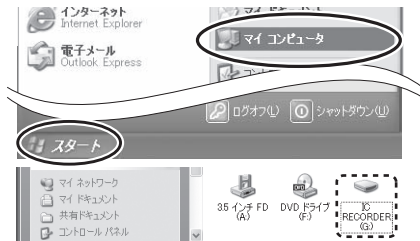
・OS：パソコンの基本ソフトウェア（Windows XP など）
・マウス：パソコン操作で入力位置の指示などを行う機器
・ダブルクリック：マウスの主ボタン（右利き用マウスの場合は左ボタン）を 2 回連続で押すこと

本機のフォルダを開く

表示は Windows XP（OS）の場合です。OS によって表示は変わります。

・本機をパソコンに接続しておく。（P71）

1.「スタート」から「マイ コンピュータ」を指定して右クリックから「開く（O)」を選ぶ

本機の内蔵メモリー、SD カードが下記の名前で表示されます。
内蔵メモリー：IC RECORDER
SD カード：IC REC SD※

※ SD カードが入っていない場合や、本機でフォーマットされていない SD カードが入っている場合は､「リムーバブルディスク」と表示されます。

2. 内蔵メモリー、または SD カードを指定して右クリックから開く（本機のフォルダ構造について：P76）

3. フォルダを指定して右クリックから開く

本機のファイルが表示されます。

● パソコンの設定によっては、拡張子が“.INX”のファイルが表示されることがあります。このファイルはインデックス情報です。このファイルをパソコンで消去するとインデックス情報は消去されます。

パソコンと使う

ファイルをパソコンに取り込む・整理する

・本機をパソコンに接続しておく。(P71)

録音ファイルをパソコンに取り込む

1. 本機の録音ファイルを指定して、右クリックから「コピー (C)」を選ぶ

2. パソコン内のフォルダなどを指定して、右クリックから「貼り付け (P)」を選び、パソコン内へ取り込む

本機のフォルダ　　　　　パソコンのフォルダ

録音ファイルをパソコンで再生する：
本機の録音ファイルを指定して、右クリックから「再生 (P)」を選ぶ。

不要な録音ファイルをパソコンで削除する：
本機の録音ファイルを指定して、右クリックから「削除 (D)」を選び、「はい (Y)」で決定する。

- 「ドラッグ＆ドロップ」でも録音ファイルをパソコンに取り込むことができます。
- データ転送中は、**絶対に本機および SD カードを取り外さないでください。**ファイルデータや本機が壊れる可能性があります。
- **パソコンで、本機および SD カードをフォーマットしないでください。**
- パソコン上で表示されるファイルの拡張子は、MP3 録音ファイルが“MP3”で、PCM 録音ファイルは“WAV”になります。
- “DATA”フォルダは、パソコン内のデータファイルの保存にご利用ください。
- パソコンで本機のフォルダ名“MIC_A(MIC_A_SD)、MIC_B(MIC_B_SD)、MIC_C(MIC_C_SD)、MIC_D(MIC_D_SD)、LINE(LINE_SD)、FM(FM_SD)、MUSIC”などを変更すると、次に本機の電源を入れた時点で、変更前の名前のフォルダが新たに生成されます。(かっこ内は SD カードの場合)
  名前を変更したフォルダは、本機の“他機器のフォルダ（）”内に表示されます。(P77)

・WAV：ファイル格納のフォーマットで複数のファイル形式に対応。本機では PCM ファイルを WAV フォーマットで格納しています。

・右クリック：マウスの副ボタン（右利き用マウスの場合は右ボタン）を押すこと

ファイル名について

本機で録音したファイルの名前について：

例：2012年9月20日17時20分/Aフォルダ/MP3録音の場合

001_120920_1720A0.MP3

① ファイル番号（001～199）
② 録音日付（半角数字6文字）
③ 録音時刻（半角数字4文字）
④ フォルダ名（A～D、L、F※）
※ FMフォルダは“F”になります。
⑤ キーワード番号（本機では0）
⑥ ファイル拡張子（.MP3/.WAV）

“_”（半角）

パソコンでは上記ファイル名が表示されますが、本機画面上では“001_”は表示されず“120920_1720A0.MP3”となります。

ファイル削除やファイル編集によるファイル名の自動変更：

本機内の録音ファイルを削除/結合すると、ファイルが前詰めされ、ファイル番号が自動的に再割り当てされます。

例：“002_120925_0905A0.MP3”を削除の場合

削除前	削除後
001_120920_1720A0.MP3	001_120920_1720A0.MP3
002_120925_0905A0.MP3	002_121003_1233A0.MP3
003_121003_1233A0.MP3	003_121231_1915A0.MP3
004_121231_1915A0.MP3	

削除/結合ファイル以降の、すべてのファイル名のファイル番号部分が変更されます。

ファイル分割やコピーなどをするとファイルが増えます。増えたファイル以降のファイル番号は自動的に後ろにずれ、ファイル名のファイル番号部分が変更されます。

パソコンに取り込んだファイルを本機へ戻すには：

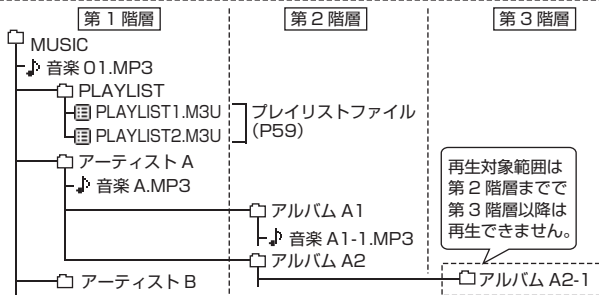
パソコンに取り込んだファイルを本機の元のフォルダに戻すと本機で再生できます。（ファイル名を変更している場合は再生できません。）
ただし、ファイル削除などで本機内のファイル名が変更されている場合、戻そうとするファイルとファイル番号が重複し、本機で再生できない場合があります。
一度パソコンに取り込んだファイルを本機に戻して再生する場合は、MUSICフォルダに転送して再生することをおすすめします。（P78）

MUSICフォルダ内のファイル名と再生順序：

MUSICフォルダではファイル名の先頭に数字が付いている場合、数字の小さなファイルから優先して再生していきます。数字は3ケタまで判別することができます。1、01、001のように付け方が違う場合、001～999が最も優先され、次に01～99で、その次が1～9となります。001音楽A.MP3、002音楽B.MP3のようにファイルの先頭に数字を付けることで好みの順序で再生させることができます。表示される順序も再生順になります。
MUSICフォルダへのファイル転送についてはP78を、再生についてはP58をご覧ください。

本機のフォルダ構造

“A、B、C、D、L、FM、M”フォルダは、パソコンや本機のリスト画面では、“MIC_A、MIC_B、MIC_C、MIC_D、LINE、FM、MUSIC”（内蔵メモリーの場合）と表示されます。
“DATA”はデータファイルなどを保存するフォルダです。

本機のフォルダ階層：

■RECYCLE フォルダ

ゴミ箱です。ゴミ箱機能が“ON”のとき、消去した録音ファイルは RECYCLE フォルダ（ゴミ箱）に移動します。

- MUSIC（M）フォルダ、他機器のフォルダ ( ) のファイルは、ゴミ箱機能の設定に関わらず、ゴミ箱に移動されずに本機から完全に消去されます。
- ゴミ箱に移動したファイルは、ゴミ箱に移動した順序を示す“001_”などの番号がファイル名の先頭に追加されます。この番号はパソコンでのみ表示されます。

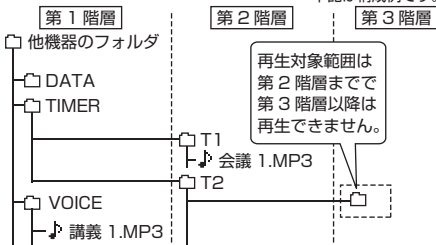
■他機器のフォルダ

“他機器のフォルダ”には、本機以外で作成したフォルダと本機の“DATA”フォルダが表示されます。例えば、本機以外のパナソニック製 IC レコーダー※で SD カードに録音したファイル（MP3 ファイルまたは PCM ファイル）を、SD カードを差し替えるだけで本機で再生することができます。

※RR-XR320、RR-XR330 を除く（2012 年 6 月現在）

本機では“他機器のフォルダ”が表示されますが、パソコンでは“他機器のフォルダ”は表示されません。

他機器のフォルダ内のファイルを再生する：

MUSIC(M) フォルダと同様の方法でファイルを選び、再生することができます。（P58）
またフォルダ頭出し機能（P59）も同様に使えます。

- 再生できるファイルの種類や、認識できるファイル数などは、MUSIC(M) フォルダと同じです。（P58）
  他機器のフォルダ内にサブフォルダがあるときは、第 2 階層までが再生対象になります。
- 内蔵メモリー、または SD カードに直接転送したファイルは、本機で再生することはできません。
  MUSIC フォルダに転送するか、ファイルをフォルダに入れて転送してください。
- MUSIC フォルダと他機器のフォルダでは、1 つのフォルダにつき最大 199 ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダを作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が減ります。

本機に音楽ファイルを転送する

パソコン内にお持ちの音楽ファイルを本機へ転送して、音楽を楽しむことができます。
本機で再生できる音楽ファイルは MP3、WMA、または PCM（WAV）※ファイルです。
※ 本機で録音した PCM（WAV）ファイルのみ。

パソコンから本機に音楽ファイルを転送する

・本機の MUSIC フォルダを開いておく。（P73）

1. 転送したい音楽ファイルを指定して、右クリックから「コピー (C)」を選ぶ

2. 本機の MUSIC フォルダを指定して、右クリックから「貼り付け (P)」を選び、転送する

本機では、1つのフォルダにつき 199 ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダを作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が減ります。

- 「ドラッグ&ドロップ」でも音楽ファイルを本機に取り込むことができます。
- データ転送中は、**絶対に本機および SD カードを取り外さないでください。**ファイルデータや本機が壊れる可能性があります。
- MUSIC フォルダの中にサブフォルダを作ってファイルを転送し、再生することができます。フォルダ構造については、P76 をご覧ください。
- ファイル名の先頭に数字を付けると、各フォルダ内のファイルをお好みの順序で再生させることができます。（P75）
- 本機は PD-DRM、DRM10 に対応していません。

パソコンの動作環境

（2012 年 6 月現在）

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機、Macintosh	
対応 OS	・Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional および Service Pack 2、3 ・Microsoft® Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate および Service Pack 1、2 ・Microsoft® Windows® 7 Starter/Home Premium/Professional/Ultimate および Service Pack 1	プリインストールされた各日本語版
	・Mac OS X 10.2.8 − 10.7	
インターフェース	USB 端子（USB ハブで接続した場合の動作は保証していません。）	

※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※（Macintosh）OS の標準ドライバーで動作します。
※ NEC　PC-98 シリーズとその互換機での動作は保証していません。
※ 対応 OS 以外での動作は保証していません。
※ OS のアップグレード環境での動作は保証していません。
※ お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
※ Windows Media® Player をご使用の際には、お客様ご使用のパソコンが Windows Media® Player の動作環境を満たしている必要があります。Windows Media® Playerに関する詳細はMicrosoft社にお問い合わせください。

パソコンの環境によっては本機で録音した音声データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音声データの損失ならびにその他の直接 / 間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。

Q&A（よくあるご質問）

Q（質問）	A（回答）
他のパナソニック製 IC レコーダーで録音したファイルは再生できますか？	• MP3 および PCM 方式の IC レコーダーで録音したファイルは、MUSIC フォルダに転送する（P78）と再生できますが、その他のフォーマット（ADPCM および TRC）のファイルは録音方式が異なるため再生できません。

こんな表示が出たら

表示	ここをご確認ください
• 再生するファイルがありません • ファイルがありません	・フォルダ内にファイルがないときに再生や時間指定サーチ（P50）、またはファイル消去 (P22) などをしようとした場合に表示されます。
microSD カードを挿入してください	・SD カードが入っていない状態でフォーマットしようとした場合に表示されます。 ・FM または LINE フォルダ内でファイルコピーやファイル移動を実行時、SD カードが挿入されていない場合に表示されます。（P56）
microSD カードが正しく認識されません 再挿入してください	・SD カードの認識に失敗した場合（P56）や、SD カードが壊れている場合に表示されます。再度挿入してください。
内蔵メモリーの読み込みに失敗しました	・本機でフォーマットしてください。（P70）それでも改善しない場合は内蔵メモリーが壊れている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
メモリーがいっぱいです	・内蔵メモリーや SD カードに空き容量がない状態で録音しようとした場合に表示されます。 ・ファイル結合する際、後ろのファイル以上の空き容量がない状態で結合しようとした場合に表示されます。（P62）
ファイルがいっぱいです	・各フォルダの録音可能なファイル数（199）を超えて録音しようとした場合に表示されます。（P15）
インデックスがいっぱいです	・1 ファイルのインデックス記録可能数（36）を超えてインデックスを記録しようとした場合に表示されます。（P48）
インデックス記録できません	・インデックスを同じ位置に記録しようとした場合に表示されます。 ・電池残量表示が“□”（点滅）のときにインデックスを記録しようとした場合に表示されます。（P48）

表示	ここをご確認ください
このフォルダにこれ以上のファイルを作成できません	・フォルダ内のファイル数が最大（199）になっているため、ファイル分割できません。不要なファイルを消去してから分割してください。（P22）
ファイル分割に必要な空き容量が足りません	・ファイル分割するために必要な空き容量がない状態で分割操作をした場合に表示されます。不要なファイルを消去してから分割してください。（P22）
• 内蔵メモリー書込み速度が遅いです • microSD カード書込み速度が遅いです	・書き込み速度の遅い SD カードや、断片化※により一時的に書き込み速度が遅くなっている内蔵メモリー、または SD カードを使用して録音を行った場合に表示されることがあります。録音モードを MP3 に変更すると改善される場合があります。断片化を改善するには、必要なファイルをパソコンや外部機器に保存したうえで、本機で内蔵メモリー、または SD カードをフォーマットしてください。（P70） ・フォーマットしても改善されない場合は、お使いの SD カードが当社基準において動作確認済みの SD カードかどうかをご確認ください。（P56） ※ ファイルの書き込みと削除を繰り返し行うとメモリー内でのファイルの配置が不連続になり、連続した空き領域が少なくなることがあります。（断片化といいます。）断片化が著しく進むとファイルの書き込み速度が遅くなり、正常に書き込めなくなることがあります。
録音時間が短いため分割できません	・録音時間が短いファイル（約 2 秒未満）を分割しようとした場合に表示されます。
現在の停止位置ではファイルを分割できません	・ファイル分割できない位置（ファイルの先頭や末尾付近）で分割操作した場合に表示されます。（P61）
合計サイズが 2GB を超えるため結合できません	・結合するファイルの合計サイズが 2 GB を超える場合に表示されます。（P62）

表示	ここをご確認ください
ファイル形式が異なるため結合できません	• FM ラジオを録音したファイルと、それ以外の MP3 録音ファイルを結合しようとしたときに表示される場合があります。(P62) • 放送局の異なるラジオ録音ファイルを結合しようとしたときに表示される場合があります。(P62)
ファイル形式の録音音質が異なります 結合できません	• 録音モードが異なるファイルを結合しようとした場合に表示されます。(P62)
ファイル形式がモノラルとステレオで異なります 結合できません RR-XS700	• マイクポジションをズーム（モノラル）で録音したファイルとステレオで録音したファイルを結合しようとした場合に表示されます。 （録音モードが“MP3 32kbps”の場合を除く）
• 電池の残量が足りません *** する場合は新しい電池と交換してください • 電池の残量が足りません *** する場合は電池を充電してください	• 電池残量表示が“□”（点滅）または“▯”のときにファイルコピーや結合、移動などをしようとした場合に表示されます。(P12)
コピー / 移動先のファイルがいっぱいです	• コピー / 移動先フォルダ内のファイルが最大数（199）に達しているためファイルコピー / 移動できません。コピー / 移動先フォルダ内のファイルを削除するか、別のフォルダをコピー / 移動先に指定してください。
ゴミ箱がいっぱいです 空にしてください	• ゴミ箱フォルダ内のファイルが最大数（199）ある状態でファイルやフォルダの消去操作を行い、これ以上ゴミ箱（🗑）へ移せない場合に表示されます。(P64)
＊がいっぱいです ファイルを戻せません	• ゴミ箱（🗑）からファイルを戻した際に、戻し先のフォルダに録音可能な最大数のファイルが存在している場合に表示されます。(P64) （＊は戻し先のフォルダ名）

「***」は、操作などによって表示が異なります。

こんな表示が出たら（続き）

表示	ここをご確認ください
ファイルをゴミ箱に移せません 空にしてください	・内蔵メモリーや SD カードの空き容量がないため表示される場合があります。（P64）
フォーマットできませんでした	・内蔵メモリーや SD カードが壊れている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
プリセットモードでチャンネル選択し削除してください	・マニュアル選局モードでプリセット編集（削除）しようとした場合に表示されます。（P27）
このプレイリストにこれ以上ファイルを登録できません	・各プレイリストに登録可能なファイル数（99）を超えて登録しようとした場合に表示されます。（P59）
全てのファイルをプレイリストへ追加できませんでした	・複数ファイルをプレイリストへ登録中に登録可能なファイル数（99）を超えたため、すべてのファイルが登録できなかった場合に表示されます。（P59）
ファイルがないためプレイリスト操作できません	・選択したプレイリスト（PLAYLIST1 ～ 5.M3U）にファイルが登録されていないため、プレイリストの編集操作ができません。（P59）
*** できません フォルダやファイル名を日本語・英数字に変更してください	・ファイル名、またはフォルダ名に対応していない文字列（日本語・英語以外の文字など）が含まれているため、プレイリストに追加できません。
タイマー録音するために microSD カードを挿入してください	・タイマー予約設定完了時に SD カードが挿入されていない場合に表示されます。
タイマー動作が実行できませんでした	・タイマー予約実行時に、SD カードが挿入されていない場合や録音中の場合など、タイマー予約の実行を失敗した場合に表示されます。
全曲モードの再生範囲外のファイルです *** できません (最大 3000 曲)	・MUSIC フォルダや他機器のフォルダの全曲リピート（ランダム）での再生範囲（最大 3,000 ファイル）以降のファイルを選択しようとした場合や、3,000 ファイル以降のファイルを選択中に、全曲リピート（ランダム）設定しようとした場合に表示されます。（P51）

「***」は、操作などによって表示が異なります。

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、
この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここをご確認ください
電池	**他機器でまだ使える電池が本機で使用できない**	・本機は時計設定内容保護のため、電池容量がわずかになった時点を寿命としています。 ・オートパワーオフ機能（停止で一定時間※操作しないと自動的に電源が切れる機能）が設定されていませんか？（P69） ※ お買い上げ時は 15 分に設定されています。
	充電しても再生時間が極端に短い	・充電式電池の寿命です（HHR-4AG の充電回数の目安は約 300 回）。新しい指定の充電式電池（別売品）に交換してください。
	充電すると“✕”が表示される充電ができない	・本機の温度が上がっています。本機をパソコンから取り外して、しばらく放置してから充電し直してください。 ・単 4 形アルカリ乾電池や指定外の充電式電池を充電しようとしていませんか？指定の充電式電池（別売品）を入れて充電してください。（P10） ・充電式電池が正しく入っていません。一度電池を完全に取り出してから、電池を正常に入れ直してください。（P10） ・電池切替の設定がアルカリ乾電池になっていませんか？設定を充電式電池に切り替えてから充電してください。（P69）
操作	**本機が動作しない**	・電池が外れていませんか？一度電池を完全に取り出してから、電池を正常に入れ直してください。 ・電池が消耗していませんか？単 4 形アルカリ乾電池をご使用の場合は、新しい電池に交換してください。指定の充電式電池（別売品）をお使いの場合は、充電してください。(P9、10)
	操作ができない	・ホールド状態になっていませんか？ホールドを解除してください。（P13、29） ・パソコン接続時は本機では操作できません。

こんなときは		ここをご確認ください
録音	メモリー容量を使い切るのが早い	• 録音モードによって録音可能時間（P93）は大きく変わります。ご使用の目的に応じて録音モードを選んでください。（P35） • データファイルが増えていませんか？ファイルを整理してください。
	録音が勝手に一時停止する	• VOS が働いていませんか？（P41）
	録音時にインサイドホンで音声を聴くと、「ピー」という雑音が混じる	• 音量を下げてください。（P21、23） • インサイドホンと本機を離してください。（P21、23） • 外部マイク使用時は、インサイドホンと外部マイクを離してください。
	録音内容が途中までしか録れていない	• 録音中、落下などの衝撃が加わったり、電池が外れたり、電池切れになったりすると、録音データの更新ができないことがあります。 • メモリーを使い切っていませんか？
	録音したファイルに音とびが発生する	• パソコンで本機の内蔵メモリーや SD カード（別売品）をフォーマットしていませんか？パソコンでのフォーマットでは本機の性能が十分に発揮できない場合があります。本機でフォーマットしてください。（P70） • SD カードの製造メーカーや種類によっては本機で正しく動作しないものもあります。 • 当社基準において動作確認済みのカードについては、当社サポートサイトでご確認ください。 http://panasonic.jp/support/audio/ • VOS が働いていませんか？（P41）
	録音した音声にガサガサと雑音が入る	• 録音中、本機を手でこすったり物が触れると、マイクを通してガサガサという音が録音されます。マイク録音中はできるだけ本機に物が触れないようにしてください。
	録音した音が割れる 音声のしゃべりだし（頭の）部分に「ボッボッ」とノイズがある	• マイク感度設定を“感度 : 低”にするか (P36)、または録音音源からの距離を遠ざけてください。それでも音割れする場合は、Low Cut フィルタ設定を ON（P36）、録音レベル調整の設定を手動にし、録音レベルを調整して録音してください。（P37）

	こんなときは	ここをご確認ください
録音	録音した音声に雑音がまざって聞き取りにくい	• 本機と携帯電話を近づけて使っているときは、本機と携帯電話を離してください。 • Low Cut フィルタを ON にしてください。雑音が減り、聞き取りやすくなる場合があります。（P36） • 録音モード（P35）やマイク感度（P36）を切り替えてみてください。 •（FM ラジオ録音時）ステレオ / モノラル切替をモノラルに切り替えてみてください。また、インサイドホンのコードをしっかりと伸ばして受信状態を改善してみてください。
	録音した音声が実際と異なる	• 録音 EQ（P39）や Low Cut フィルタ（P36）が設定されていませんか？
	設定した録音モードと異なる録音モードで録音される	• 録音前にマイクポジションを変更していませんか？ダイレクトシーン設定が ON の場合は、マイクポジションを変更すると設定されている録音モードに切り替わります。（P33）
	録音した音が大きすぎたり小さすぎたりする	• 録音レベル調整が手動になっていませんか？（P37）手動の場合は録音レベルを正しく調整するか（P38）、録音レベルを“自動”にしてください。 • マイク感度を切り替えてみてください。（P36）
	録音しているのにレベルメーターが動かない、録音したファイルが無音になる	• 録音レベル調整が“手動”で、録音レベルが“0”になっていませんか？録音レベルを調整してください。(P38)
再生	スピーカーから音が出ない	• インサイドホンを接続していませんか？（P21）
	音声が聞こえない	• 音量を調整してください。（P20）
	フォルダ内（A、B、C、D、L、FM、🗑）のファイルが再生できない	• パソコンでファイル名を変更していませんか？ A、B、C、D、L、FM、🗑 フォルダ内では「本機で録音したファイルの名前について」（P75）に従った名前のファイルしか再生できません。ファイル名を変更していない場合でもフォルダ内でファイル番号が重複していると再生できません。MUSIC（M）フォルダに転送すると再生できます。（P78） • 転送先が異なっていませんか？パソコンからファイル転送する際、録音用フォルダに入れても、本機で再生できません。MUSIC（M）フォルダに転送してください。（P78）

こんなときは		ここをご確認ください
再生	MUSIC（M）フォルダや他機器のフォルダ（）内のファイルが再生できない、または正しく再生できない	・本機では MP3、WMA ファイルと本機で録音した PCM（WAV）ファイルを再生できます。AAC など、その他のファイルは再生できません。 ・MUSIC フォルダと他機器のフォルダでは、１つのフォルダにつき最大 199 ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダを作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が減ります。それを超えて転送されたファイルは再生されません。 ・MUSIC フォルダと他機器のフォルダの再生対象範囲は、第 2 階層までで第 3 階層以降は再生できません。（P76） ・著作権保護されているファイルは、エクスプローラーで転送しても再生できません。 ・プレイリスト登録後にファイルが消去されていませんか？元のフォルダにそのファイルを転送するか、プレイリストからそのファイル名を消去してください。(P60)
	再生速度が速かったり、遅かったりする	・再生速度を変更していませんか？（P49）
	インサイドホンから音が聞こえない、聞こえにくい、雑音がする	・プラグは奥までしっかりと差し込まれていますか？ ・プラグが汚れていませんか？プラグをきれいにふいてください。
	選択ファイルが勝手に変わる “再生するファイルがありません”と表示される	・パソコンに接続して本機のファイルを削除すると本機での選択ファイルが変わる場合があります。MUSIC フォルダの場合、MUSIC フォルダ直下のファイルが選択され、ファイルがない場合は“再生するファイルがありません”と表示されます。ファイルを選択し直してください。
	A-B リピート再生をすると無音や小さい音で再生される	・シャドーイングが ON になっていませんか。（P53）
	フォルダ頭出しが働かない	・フォルダ頭出しは、ファイル総数が 3,000 ファイルまで働きます。他機器のフォルダ（P77) でも同様です。 例）MUSIC フォルダに 100 曲入ったフォルダを複数保存した場合、フォルダ頭出しが働くのは 30 個目のフォルダまでです。

	こんなときは	ここをご確認ください
サウンドモニター	「ピー」という雑音が混じる	• 音量を下げてください。（P20、23） • インサイドホンと本機を離してください。（P21、23） • 外部マイク使用時は、インサイドホンと外部マイクを離してください。
	インサイドホンから音が聞こえない、聞こえにくい、雑音がする	• プラグは奥までしっかりと差し込まれていますか？ • プラグが汚れていませんか？プラグをきれいにふいてください。
タイマー	タイマー予約が正常に動作しない（タイマー録音ができていなかった）	• 正しい日時で時計設定を行ってください。(P14) • 録音先のフォルダがいっぱいになっていませんか？不要なファイルを消去してください。(P22) • 電池が消耗していませんか？新しい電池と交換してください。（P9） 充電式電池をお使いの場合は、充電してください。(P10) • メモリーの空き容量はありますか？不要なファイルを消去してください。(P22) • パソコンなどに接続していませんか？パソコンから取り外してください。 • タイマー再生時刻になっても本機を使用していると現操作が優先されます。IC レコーダーモードで停止状態にしてください。 • タイマー録音開始時刻に他の録音をしていると現録音が優先されます。録音を停止してください。ただし、録音以外の操作で使用している場合は、タイマー録音が優先されます。
FMラジオ	FM ラジオの雑音が多く聴きづらい	• 近くにノイズ源（テレビやモーター、電気器具など）がありませんか？ 設置場所を変えてみてください。 • 周波数がずれていませんか？周波数を調整してください。(P24)
	FM ラジオが受信できない	• 付属のステレオインサイドホンを本機のインサイドホン端子に奥までしっかりと差し込み、コードを伸ばしてお使いください。(P24)

こんなときは		ここをご確認ください
その他	電源が入らない	・電池が消耗していませんか？新しい乾電池と交換してください。（P9） 充電式電池をお使いの場合は、充電してください。（P10）
	電源が勝手に切れる	・オートパワーオフ機能（停止で一定時間※操作しないと自動的に電源が切れる機能）が設定されていませんか？（P69） ※ お買い上げ時は 15 分に設定されています。
	SD カードが認識されない	・SD カードが正しく挿入されていますか？本機の電源を切り、SD カードを入れ直してください。（P56） ・SD カードをパソコンなどでフォーマットしていませんか？本機でフォーマットし直してください。（P70）
	ファイル、フォルダが消去できない	・パソコンから転送した MP3 や WMA 音楽ファイルが読み取り専用の場合、MUSIC フォルダや他機器のフォルダのサブフォルダは、本機では消去できません。パソコンで消去してください。（P74）
	ファイルを消去したのに空き容量が増えない	・ゴミ箱フォルダを空にしてください。(P64)
	ファイル分割ができない	・メモリーの空き容量はありますか？ ・フォルダ内に録音可能ファイル数（199）が録音されていませんか？ 199 ファイル録音されている場合はファイル分割できません。 ・ファイルの録音時間が短すぎませんか？ファイル分割するには約 2 秒以上のファイル長さが必要です。 ・ファイルを分割したい位置まで再生後、［停止 ■/ 戻る］を押してから分割してください。（P61）

こんなときは		ここをご確認ください
その他	パソコンに接続しても、本機を認識しない	・パソコンと本機を正しく接続してください。（P71） ・パソコンから本機を取り外し、再接続してください。 ・接続されているほかの USB 機器（正しく動作しているマウス・キーボードは除く）はすべて取り外して、本機を単独で接続してください。パソコンに USB 端子が複数ある場合は、別の USB 端子に本機を接続してください。 ・USB ハブを経由して接続していませんか？ハブを取り外してパソコンの USB 端子に直接本機を接続してください。 ・パソコンの OS が非対応ではありませんか？（P79） ・ネットワークドライブが割り当てられていませんか？ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター（ドライブ名のアルファベット）がぶつかり、本機のドライブ名が見えない場合がありますので、ネットワークドライブの割り当てを変更してから接続し直してください。
	録音ファイルのファイル名や録音日時情報が実際の日時と違う	・時計を合わせてください。（P14）
	日時が正しく表示されない	・電池を抜いた、または電池切れになってから長い間放置していませんか？時計設定（日時）を設定し直してください。(P14)
	ファイル検索が正常に動作しない	・ファイル検索は、録音用フォルダ内のファイルを録音の際に付けられたファイル名（P75）から検索します。そのため、時計設定が正しく設定されていない状態で録音したファイル、パソコンで名前を変更したファイル、パソコンで MUSIC フォルダなどに移動したファイルは、正常に検索できない場合があります。 ・ファイル検索は選択中のメモリー内のみを検索します。ファイル検索の前に検索するメモリー（内蔵メモリー /SD カード）を選択してください。

仕様

電源	乾電池 RR-XS450	DC 1.5 V（単4形アルカリ乾電池×1本使用）
	充電式電池 RR-XS500 RR-XS700	DC 1.2 V（ニッケル水素充電式電池 HHR-4AG × 1 本使用） USB 充電（充電時間：約2 時間）

音声	サンプリング周波数 （[ ] 内は録音モード）	（マイク / ライン録音） 44.1 kHz [PCM 44.1kHz] 44.1 kHz [MP3 320kbps] 44.1 kHz [MP3 192kbps] 44.1 kHz [MP3 128kbps] 22.05 kHz [MP3 64kbps] 16 kHz [MP3 32kbps] モノラル （FM ラジオ録音） 32 kHz/44.1 kHz/48 kHz のいずれかを自動選択 [MP3 128kbps]
	録音方式	リニア PCM（16 bit）/ MP3
	再生可能ビットレート※	16 kbps ～ 320 kbps（MP3） 32 kbps ～ 192 kbps（WMA）
	再生可能サンプリング周波数※	8 kHz ～ 48 kHz（MP3） 22.05 kHz ～ 48 kHz（WMA）
	内蔵マイク S/N 比	45 dB（PCM 44.1 kHz）フィルター（JIS A）
	ラジオ受信周波数	FM 76.0 MHz ～ 90.0 MHz（0.1 MHz ステップ）

※ MUSIC(M) フォルダ、他機器のフォルダ（[フォルダアイコン]）

音声	周波数特性（－10 dB、録音 / 再生時） （[ ] 内は録音モード）	20 Hz ～ 21,000 Hz [PCM 44.1kHz] 20 Hz ～ 21,000 Hz [MP3 320kbps] 20 Hz ～ 20,000 Hz [MP3 192kbps] 20 Hz ～ 17,000 Hz [MP3 128kbps] 20 Hz ～ 7,500 Hz [MP3 64kbps] 20 Hz ～ 6,700 Hz [MP3 32kbps]

USB		USB2.0（Hi-Speed）
音声出力	インサイドホン端子	φ 3.5 mm, 16 Ω , 10+10 mW(JEITA)
	スピーカー出力	φ 20 mm, 8 Ω , 90 mW(JEITA)
音声入力	マイク / ライン端子	φ 3.5 mm，0.80 mV，プラグインパワー対応
使用温度範囲		0 ℃～ 40 ℃
使用湿度範囲		20% RH ～ 80% RH（結露なきこと）
充電可能温度範囲		5 ℃～ 35 ℃

RR-XS450 **RR-XS500**

最大外形寸法	40.8 (W) mm × 103.1 (H) mm × 16.2 (D) mm
本体寸法	38.5 (W) mm × 102.5 (H) mm × 14.8 (D) mm
RR-XS450 質量	約 54 g（乾電池を含む）/ 約 43 g（乾電池を含まず）
RR-XS500 質量	約 55 g（充電式電池を含む）/ 約 43 g（充電式電池を含まず）

RR-XS700

最大外形寸法	46.3 (W) mm × 122.2 (H) mm × 21.6 (D) mm
本体寸法	38.5 (W) mm × 122.2 (H) mm × 15.7 (D) mm
質量	約 68 g（充電式電池を含む）/ 約 56 g（充電式電池を含まず）

電池持続時間

（使用条件によっては短くなる場合があります。）

	録音モード	充電式電池※2	アルカリ乾電池※3
録音時※1	PCM 44.1kHz（ステレオ）	約 17 時間 30 分	約 27 時間
	MP3 320kbps（ステレオ）	約 20 時間 30 分	約 32 時間
	MP3 192kbps（ステレオ）	約 20 時間 30 分	約 33 時間
	MP3 128kbps（ステレオ）	約 21 時間	約 32 時間 30 分
	MP3 64kbps （ステレオ）	約 25 時間	約 40 時間
	MP3 32kbps （モノラル）	約 27 時間 30 分	約 40 時間 30 分

	録音モード	充電式電池※2	アルカリ乾電池※3
再生時※4	PCM 44.1kHz（ステレオ）	約 10 時間	約 19 時間
	MP3 320kbps（ステレオ）	約 10 時間 30 分	約 20 時間 30 分
	MP3 192kbps（ステレオ）	約 10 時間 30 分	約 20 時間 30 分
	MP3 128kbps（ステレオ）	約 10 時間 30 分	約 20 時間 30 分
	MP3 64kbps （ステレオ）	約 11 時間	約 21 時間 30 分
	MP3 32kbps （モノラル）	約 11 時間	約 21 時間 30 分

FM ラジオ受信時※5	約 4 時間 30 分	約 6 時間 30 分
FM ラジオ録音時※1	約 4 時間	約 5 時間 30 分

内蔵メモリー容量

（内蔵メモリーの使用可能領域は表示容量より少なくなります。）

記録容量（メモリー容量）	4 GB

録音可能時間の目安

（使用条件によっては短くなる場合があります。）

録音モード	録音時間	ビットレート
PCM 44.1kHz（ステレオ）	約 6 時間※6	1411 kbps※6
MP3 320kbps（ステレオ）	約 27 時間	320 kbps
MP3 192kbps（ステレオ）	約 45 時間	192 kbps
MP3 128kbps（ステレオ）	約 68 時間	128 kbps
MP3 64kbps （ステレオ）	約 136 時間	64 kbps
MP3 32kbps （モノラル）	約 272 時間	32 kbps

内蔵メモリー（4 GB）使用時

※1 録音モニターなし、録音ランプ OFF、録音レベル調整 自動、内蔵メモリー使用時

※2 専用充電式電池（HHR-4AG）を使用

※3 パナソニック単4形アルカリ乾電池を使用

※4 スピーカー再生：音量 11、再生速度 1 倍速

※5 スピーカー出力時

※6 RR-XS700 でマイクポジションを ZOOM にして PCM 録音する場合は、ビットレートが約半分になり、録音時間が約 2 倍になります。

● この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Media および Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。
- IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Macintosh および Mac OS は米国 Apple Inc. の商標です。
- 本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの 一定の知的財産権によって保護されています。 本製品以外での前述の技術の利用もしくは配付は、Microsoft もしくは権限を有する Microsoft の子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。
- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では™、® マークは一部明記していません。

お手入れ

■本機が汚れたら

乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学雑巾は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

■故障を防ぐために

- **ズボンの後ろポケットに入れて座らないでください。**
- **インサイドホンを本機に巻きつけたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えないでください。**
  本機の傷つきや破損につながります。
- **本機に、雨水や水滴などがかからないようにしてください。**
- **本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしないでください。**
  強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れたり、故障や誤動作の原因になります。

■SD カードの互換性

microSD カードと microSDHC カードはそれぞれのカードに対応した機器で使用できます。
（microSD カードは microSDHC カード対応機器でも使用できます。）非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。また、microSDHC カードに非対応のパソコンや機器の場合はカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。フォーマットを実行するとデータが消去されます。元に戻すことはできませんのでフォーマットしないでください。

■SD カードや本機を廃棄 / 譲渡するときのお願い

内蔵メモリーや SD カードのデータは、本機やパソコンで「消去」や「フォーマット」を行うと再生できなくなりますが、完全には消去されません。
セキュリティのため完全に消去したい場合は、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使うか、フォーマットしたあと、情報が残らないように録音残り時間がなくなるまで録音してください。

著作権について

放送や CD、MD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

充電式電池使用後は、貴重な資源を守るためにリサイクルへ！

使用済み充電式電池の届け先：

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

・ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

		⚠ 注意
「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。

⚠ 危険

充電式電池は、はんだ付け・分解・改造したり、火の中へ投入・加熱はしない

電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

充電式電池は、本機で充電する

指定外の機器で充電すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

● 充電式電池も必ず指定のものをご使用ください。

警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電池を取り出す

- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **本体が破損した**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

●電源を切り、販売店にご相談ください。

電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕ と ⊖ を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕ と ⊖ を逆に入れない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ･発熱･発火･破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

●電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

警告

単４形電池やメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

乗り物を運転中に操作しない

事故の原因になります。

乗り物を運転中や、周囲の音が聞こえないと危険な場所で、ステレオインサイドホンを使わない

事故の原因になります。
踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、特にご注意ください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

安全上のご注意（続き）

警告

ステレオインサイドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

分解禁止

分解、改造をしない

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

使い切った電池は、すぐに機器から取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60 ℃以上）になります。本機を絶対に放置しないでください。
火災の原因になることがあります。

- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけない

スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

- スピーカーは防磁設計ではありません。テレビ等の近くに置かないでください。

ステレオインサイドホンなどが直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止する

そのまま使用すると、炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

ステレオインサイドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

長期間使わないときは、電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

使いかた・お手入れ・修理などは
■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電　話（　　　　　）　　　－

お買い上げ日　　　　　年　　　月　　　日

修理を依頼されるときは

「こんな表示が出たら」、「故障かな !?」（P81 ～ 91）でご確認のあと、直らないときは、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

● 製品名　IC レコーダー

● 品　番　□ RR-XS450　□ RR-XS500　□ RR-XS700

お買い上げの品番に記入してください。

● 故障の状況　できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間 : お買い上げ日から本体 1 年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 6 年

当社は、この IC レコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は……

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター

電 話　365日 受付9時～20時

フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-365**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「130#」を押してください。（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX　フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30

(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は……………………

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電 話

フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

・有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

■ 各地域の 修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区		
札 幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
旭 川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
帯 広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
函 館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗町589-241
首都圏地区		
栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
山 梨	☎(055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14

東北地区		
青 森	☎(0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
福 島	☎(024)991-9308	郡山市備前舘2丁目5
中部地区		
石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421

近畿地区		
滋 賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
大 阪	☎(06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4

中国地区		
鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1

四国地区		
香 川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1

九州地区		
福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
熊 本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33

沖縄地区		
沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0512

さくいん

アルファベット

あ行

か行

さ行

ご愛用者登録について

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/

※このサービスは WEB 限定のサービスです。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- このマークがある場合は -

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/

〈無料修理規定〉

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
  (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
  (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2.ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3.ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
  (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
  (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
  (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
  (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
  (ホ) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
  (ヘ) 本書のご添付がない場合
  (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
  (チ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5.本書は日本国内においてのみ有効です。
6.本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7.お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。
  (ご相談窓口一覧表を同梱の場合)
  お近くのご相談窓口は同梱別紙の一覧表をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

ICレコーダー保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品　番	RR-XS450/RR-XS500/RR-XS700
保証期間	お買い上げ日から **本体 1年間**
※お買い上げ日	年　月　日
※お客様	ご住所 お名前　　　　**様** 電　話（　　　）　－
※販売店	住所・販売店名 電話（　　　）　－

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号　TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。